

令和 6 年度訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業（実証事業）
「サステナブルな観光及びアドベンチャーツーリズム
推進に向けたプラットフォーム検討事業」

事業実施報告書

2025 年 2 月

中国運輸局 観光部 観光地域振興課

目 次

1. 事業全体の概要	1
1-1. 背景と目的	1
1-2. 事業の全体像	1
1-3. 実施フロー	2
2. コンテンツの情報発信ツールの検討	3
2-1. 中国地方各県におけるコンテンツ、海外での情報発信の状況	3
2-2. 事業者・プレイヤー、専門家へのヒアリング及び現地視察	23
3. インバウンド受け入れや ST・AT を推進できる組織・人材育成の検討	30
3-1. 講演会の実施	30
3-2. ガイド研修会	33
3-3. 先進地フィールドワーク	37
4. 検討会の実施	39
4-1. 概要	39
4-2. 第 1 回検討会	40
4-3. 第 2 回検討会	44
4-4. 第3回検討会	47
5. プラットフォームの構築の検討	51
5-1. 今年度の検討事業で明らかとなった現状やニーズ	51
5-2. 現状やニーズを踏まえたプラットフォームに求められる役割	52
5-3. プラットフォームの組織構造	53
5-4. プラットフォームの想定メンバー	54
5-5. キックオフ	55
6. 事業総括	60
6-1. 事業成果	60
6-2. 今後の課題と展開	60

1. 事業全体の概要

1-1. 背景と目的

観光立国推進基本計画において「持続可能な観光」がキーワードとして挙げられている。また、世界ではサステナブルな観光(略称する際は ST と表記)やアドベンチャーツーリズム(略称する際は AT と表記)へのニーズが高まってきており、コロナ禍を経て、持続可能な観光への転換を進める必要があるが、中国地方においては、ST や AT に対する取り組みは十分に浸透しているとは言い難い。そのため、持続可能な地域の在り方・その意識の醸成、地域そのものや活動する取組に対して自信を付けていくことも必要である。また、ST や AT をけん引できるような人材やガイド(例:インストラクター、インタープリター、ファシリテーター)、スキルが不足している状況にあり、多くの地域においてインバウンドを受入れる体制が整えられていない状況である。

さらに、ST や AT を推進していくためのアドバイザーやプラットフォームも求められている状況にある。そのため、情報発信や体制構築・人材育成の両輪で推進することができるプラットフォームの構築に向けた検討を行う。

1-2. 事業の全体像

(1) 事業概要

ST・AT が抱える「人材育成・体制づくり」「事業者・プレイヤーのネットワークづくり」「ST・AT としてのブランディング」「理解醸成・認知度向上」の課題を解決していくために、「交流の場」「情報が集まる場」としてのプラットフォームの構築を図っていくことを念頭に事業を実施した。

✧ 事業者・プレイヤーのスキルアップや中国地方の ST・AT ブランドづくりへの機運を高める「交流の場」

✧ お互いのコンテンツの情報やノウハウを共有し合い、情報・ノウハウを集約・更新していく「情報が集まる場」

(2) 本事業の目的

- ✧ プラットフォーム構築に向けた体制づくりとプラットフォームが目指す方向性・役割の明確化、
- ✧ プラットフォームの母体の構築

(3) 本事業で取り組むべきこと

本事業の目的を達成するために、本事業で取り組むべきことを以下で整理する。

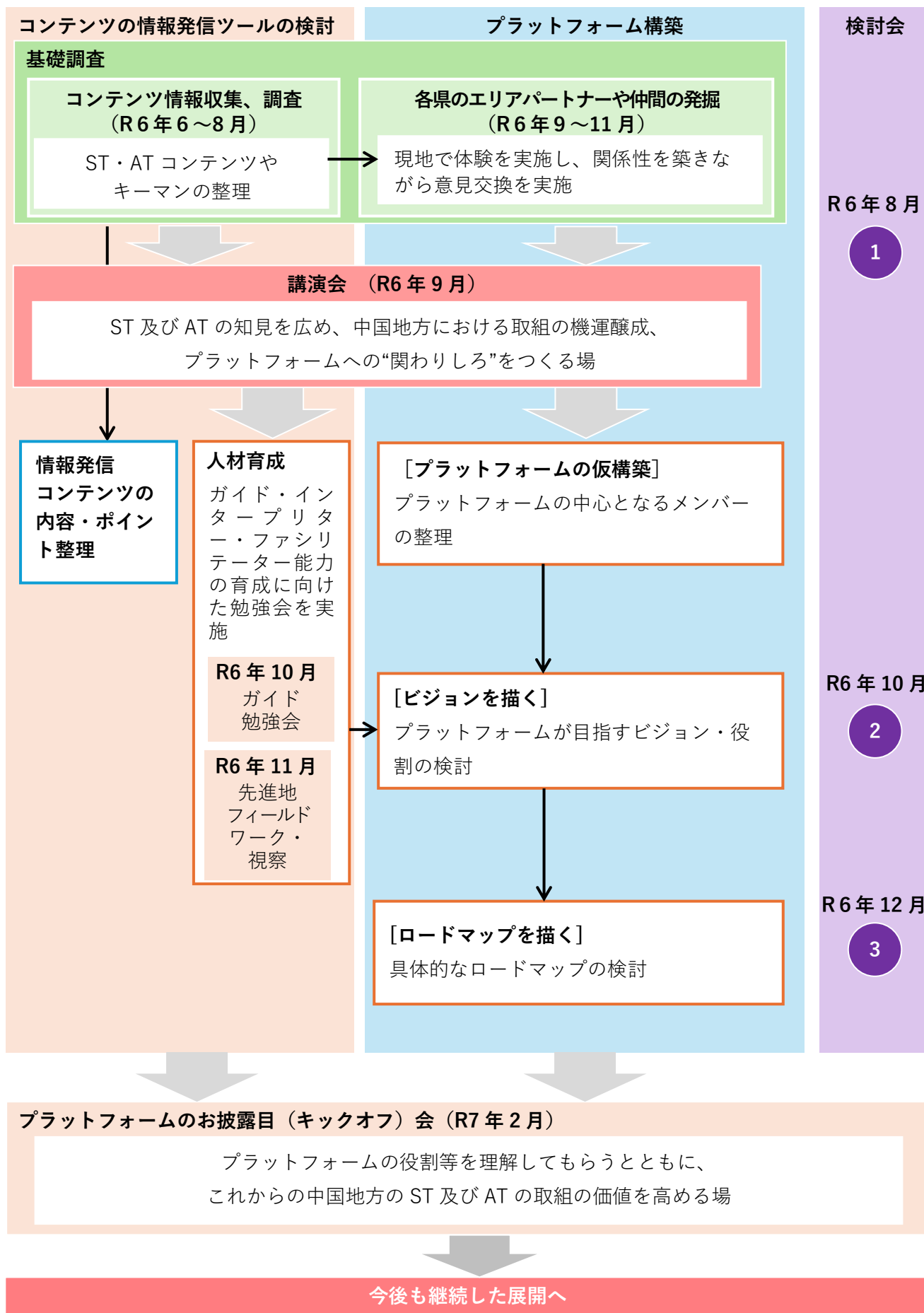
- ① 中国 5 県のキーマンとなる意欲の高いプレイヤーが“仲間”になること
- ② 地域内・地域外のプレイヤーとの交流を図ること
- ③ 交流を通じた ST・AT の価値の再認識と質の向上に向けた取組を行うこと
- ④ 自走化につなげるためにプラットフォームの第一歩目を動き出すこと

○事業の定量的な目標

- | | |
|---------------------|----------------|
| ✧ 講演会の開催：1 回 | ✧ キックオフの開催：1 回 |
| ✧ ガイド勉強会の開催：1 回 | ✧ 検討会の開催：3 回 |
| ✧ 先進地研修フィールドワーク：1 回 | |

1-3. 実施フロー

以下のような流れで事業を行った。



2. コンテンツの情報発信ツールの検討

2-1. 中国地方各県におけるコンテンツ、海外での情報発信の状況

中国地方の各県における ST 及び AT に関連するコンテンツや団体、海外サイトでの日本のコンテンツの情報発信の概況を整理し、各県の現地調査、ヒアリング調査等に活かした。

(1) 鳥取県の団体・コンテンツ・ツアー等の内容

関係団体 or ツアー	概要	カテゴリー
グリーン・ツーリズムや まだ	体験農業 を主体とした、観光プランを作成。旧庄屋の施設を利用した 農家民宿 。顧客のプライベートを守り、心の安らぎと、田舎のよさを味わう。	農業体験、農家民宿
ふるさと日南邑ファーム・イン	交流の拠点「ふるさと日南邑」は、「 自然観察・農林業体験・スポーツ・創作活動 」の4つの柱を持ち都市へ自然の息吹を発信しつづけている。	自然観察、農林業体験、スポーツ、創作活動
一般社団法人 倉吉観光マイス協会	鳥取県倉吉市の観光協会、町並み風景やキャンペーン、イベント・店舗情報を中心に発信している。 主な事業概要は、観光資源の調査研究及び開発、利用の促進、観光資源の紹介、宣伝及び観光客の誘致、観光事業の調査研究並びに観光情報の収集及び発信、観光事業を行う機関、団体等との連絡協調、MICE の誘致、開催及び支援、インバウンド観光の推進、旅行業法に基づく旅行業及び旅行サービス手配業、旅館業法に基づく簡易宿所営業、空き家利活用のインフラ整備、その他当法人の目的を達成するために必要な事業	その他
TRAIL ON (トレイル オン)	鳥取砂丘 の絶景を紹介。一期一会の風景が見られる ガイドツアー 。鳥取砂丘の見どころや絶景撮影ポイントなどをプロカメラマンが案内する。鳥取砂丘を熟知したガイド兼カメラマンが案内、一期一会の風景を写真と思いに残す。	フォトガイドツアー、写真撮影・動画制作
歩けば体内デトックス！ 大自然をいただきます。 心を洗う大山ブナの森ウォーク	グリーンシャワーの降り注ぐ ブナの原生林 の中をゆったり トレッキング 。日常のコンクリートジャングルから抜け出し、グリーンシャワーの降り注ぐブナの原生林の中をゆったりトレッキ。日常のコンクリートジャングルから抜け出し、グリーンシャワーの降り注ぐブナの原生林の中をゆったりトレッキング。	トレッキング
とっとり観光未来共創会議	大山などの豊かな自然を活用したアドベンチャーツーリズムのほか、鳥取和牛や松葉ガニなどの食材、温泉、伝統工芸などの魅力を掘り下げ、付加価値の高い旅行企画へ活用する。県国際観光誘客課は「観光資源の魅力を深掘りし、企画を磨き上げて付加価値をつけ、新たな誘客につなげたい」としている。	食とアドベンチャーツーリズム
一般社団法人麒麟のまち 観光局	因幡（鳥取県東部）・北但西部（兵庫県北西部2町）圏域（鳥取県鳥取市・岩美町・若桜町・智頭町・八頭町、兵庫県新温泉町・香美町）は、古くから歴史や文化、生活圏を共有し、山陰海岸ジオパークと中国山地に囲まれるなど、豊かな自然と山海の幸に恵まれた地域である。	その他
鳥取県自然体験塾、いわみガイドクラブ、鳥取観光ガイドセンター	鳥取県岩美町 には、自然・歴史・文化・グルメなど多くの魅力があふれている。一度だけでは味わい尽くせないその魅力のいろいろを、いわみガイドクラブがわかりやすく案内する。（ ジオパークガイド ：15名／ガイドコーディネーター：2名）	ジオツーリズム
鳥取県自然体験塾→ USKAYAK（浦富海岸シーカヤック）	全国でもトップクラスの透明度を誇る、鳥取県岩美町の海。その大自然を活かした様々なアクティビティがあるが、中でも人気なのが「 シーカヤック 」である。シーカヤックは、ゆったりと、のんびりと、お散歩気分海の上を進む。そこから見えるのは、山陰海岸ジオパークの雄大な景色である。	シーカヤック
Develop Surf & Sea	浦富海岸 は日本海の荒波によって形作られた壮大な海食地形をしており、山陰海岸ジオパーク※1の浦富海岸エリアに含まれ、洞門、洞窟、白砂の浜など、様々な地形を観察することができる地形・地質の博物館である。 サーフィン、シーカヤック、SUP。	サーフィン、シーカヤック、サップ
因幡麒麟獅子舞の会	鳥取県東部に約350年前より伝わる麒麟獅子舞。これを実施・保存する50団体による共助組織である。	その他
一般社団法人大山観光局	法人の主な取組は以下の通りである。 ・情報発信・プロモーション（大山町のHPの観光部門との一元化、多言語解説ウェブページ整備業務、観光PRポスター作製、商談会への参加） ・受入環境の整備（観光案内所運営業務、駐車場指定管理業務、大山スポーツ公園指定管理業務、大山自然歴史館指定管理業務）	登山

	・観光資源の磨き上げ（ツアー・旅行商品造成、大山プナの森ウォーク、サイクリングツアー、星空で遊ぶツアー、スノーシューツアー、シャワークライミング） ・イベント運営（イベントを実行委員会の事務局として企画・運営等） 等	
せれん環境教育事務所 （NatureGuide Ametsuki）の特徴	自然が大好きな人を増やしたい。愛する自然と共に地球にやさしい暮らし方、生き方を YES で選ぶ人が増えていくこと。五感を使ったネイチャーインタープリテーションによる 自然体験 を通して、自然と、地球と、自身とがつながる、森の時間、自然とツナガルを作っている。	自然体験
東部タクシー 貸切観光タクシー 智頭 町めぐり+芦津溪谷での 森林セラピー	タクシーで巡る智頭宿と牛ノ戸窯ツアー、山陰海岸ジオパーク・"砂丘の夢"ツアー の二つのツアーがある。	タクシーツアー
大山・中海エコツーリズム協議会について	大山・中海エコツーリズム協議会は、 大山隠岐国立公園 とその麓に広がる周辺エリア、及び、ラムサール条約登録地 中海とその周辺エリアを中心とした、エコツーリズムの促進に取り組みながら、当地の雄大な自然、風土と歴史、そこに受け継がれてきた伝統と文化を保全しつつ、その大切さを啓蒙し、さらに、新たな観光の魅力づくりと経済活動を両立させた持続可能な地域づくりの実現を目指している。	エコツーリズム
森の国	森の国というアドベンチャーパークを運営。その中で、 散策、サイクリング などいくつかのツアーを企画、運営している。	散策、サイクリング
鳥取砂丘パラグライダー 砂丘本舗	鳥取県鳥取市に開校する『 鳥取砂丘パラグライダー 』では、パラグライダーでフライトされる方に砂丘の上空を提供し、初めての方でも楽しく遊んでいただくために半日コースから1日コース、操縦を任せる2人乗りコース、お子様からお年寄りの方までお楽しみいただける楽ちんコースを用意している。ベテランスタッフが丁寧にサポートし、障害物のない安定した風の中、柔らかい砂に着地するので初心者の方でも安心である。	パラグライダー
SANDSLIDER SAND BORD 株式会社 Casting net	日本で唯一の サンドボード体験・レッスン が楽しめる鳥取砂丘サンドボードスクール。スクールとして参加人数に応じて行う。 ※天候状況によっては開始時間の変更ならびに時間内での途中中止がある。 ※小雨決行・天候不順で中止の場合はインストラクターより連絡する。	サンドボード
わかさ氷ノ山インフォメーションセンター （氷ノ山ゲレンデ等活用 実行委員会）	2019年に新築された「わかさ氷ノ山インフォメーションセンター」は、春は新緑、夏は登山やキャンプ、秋は紅葉、冬はスキーなどが楽しめる、遊びながら学べるスポーツの拠点である。雄大な自然の営みと恵に包まれ、一年を通して遊ぶことができる。わかさ氷ノ山スキー場や氷ノ山自然ふれあい館、響の森などの周辺施設へのアクセスも便利である。	グラススキー、登山
Camel Cycle Club(キャメルサイクルクラブ)	観光名所やこのツアーだけの絶景ポイントを巡る！ E バイク観光ツアー 「Camel Cycle Club（キャメルサイクルクラブ）」では、鳥取砂丘とまちなかを結ぶ、ガイド解説付き E バイク観光ツアーをご用意している。最新の電動自転車だから、どんなにきつい上り坂もラクラク、初心者の方でもゆったり楽しめるツアーである。	E バイク
Hidden west	プラネタリーヘルスツーリズム（planetary health tourism） あなたに（個人、団体）オリジナルのプログラムを提案する。zoom などで事前にヒアリングさせて頂き、自然の摂理の構造をまずは大山流域の山、川、海を身体知性を通して感じ、自然のシステムを学ぶプログラムである。その時期、その瞬間、その方々に合った体験を提案する。	プラネタリーヘルスツーリズム
砂丘 YOGA	砂丘ヨガ （夕陽のパワーを全身に取り込むサンセットヨガ）、サップクルージング&サップヨガ	砂丘ヨガ、サップ
TRAIL ON(トレイル オン)	2016年3月 鳥取砂丘にてアクティビティ事業「TRAIL ON」を開業 写真撮影をメインとした フォトガイドツアー 催行のほか、各種企業や行政機関などの写真・動画撮影、観光コンテンツプロデュース、企業コンテンツ造成、ブラッシュアップ事業、ガイド養成、撮影講座講師などもおこなっている。	フォトガイドツアー、写真動画撮影
鳥取砂丘セグウェイアドベンチャーツアー 事業者名：株式会社 S i S S	鳥取砂丘での セグウェイツアー をおこなっている。この他、SISS で、鳥取と淡路島でフローリックシーアドベンチャーパーク鳥取や淡路島を運営している。	セグウェイツアー
Develop SURF &SEA	浦富海岸周辺での、 サーフィン、シーカヤック、サップ などの体験ツアーを実施している。	サーフィン、シーカヤック、サップ

智頭町森のガイドの会： 智頭町森林セラピー推進協議会	森林セラピー とは、森の中に身を置き、森を楽しみながら、森の中で歩行や運動、リラクゼーション、ライフスタイル指導などを受けることで、保養効果を高める、一歩すすんだ森林浴である。	森林セラピー
鳥取県境港市の遊漁船 JOY FISHER(ジョイフィッシャー)	三隻の 釣り船 を所有する遊漁船会社。	釣り船
一般社団法人 倉吉観光 MICE 協会	全身で歴史に触れる、自然に触れる体験 歴史のある 伝統工芸 に触れる体験や、 自然ワークショップ、トレッキング など全身で楽しむ。→やまもり温泉キャンプ場／倉吉餅でまち歩き／はこた人形顔描き体験	伝統工芸体験、自然ワークショップ、トレッキング
一般財団法人 すなばスポーツ	2015 年 4 月に設立。主な活動フィールドは鳥取砂丘、白兔海岸、賀露海岸、浦富海岸など、県東部の海岸や砂浜。ビーチサッカー、ビーチテニス、ビーチヨガ、エアロビ、砂丘でのしゃんしゃん傘踊り、ウォーターサバイバルなど、多くの体験型のアクティビティを実施している。	すなばスポーツ、ビーチサッカー、ビーチバレー、ビーチテニス、ビーチヨガ
ジオ Sen.s	但馬因幡 探究クラブ。兵庫県北部「新温泉町」を中心に、自然体験活動の企画、 ジオパークガイド を行っている。ガイド 8 名のうち、7 名が 30 代～40 代の子育て世代で、家族で楽しめるガイドを心がけている。	ジオパークガイド
かすみジオカヤッククラブ	兵庫県北部「新温泉町」を中心に、自然体験活動の企画、 ジオパークガイド（カヤック・SUP） を行って香住海岸や河口をシーカヤックで散策する。奇岩や洞門を間近に見る事ができる。	カヤック、サップ
因幡麒麟獅子舞の会	鳥取県東部に約 350 年前より伝わる 麒麟獅子舞 。これを実施・保存する 50 団体による共助組織である。 麒麟獅子舞の伝統文化を継承・育成し、各保存会の活力を援助することにより、鳥取県の伝統文化に寄与することを目的としている。	麒麟獅子舞
山陰インバウンド機構 森本 誠人	ゲートウェイ戦略を強力に推進していく為に、山陰独自の新たな取り組みを始めた。FIT（自由気ままな個人旅行）市場の獲得には、彼らがストレスなく、行きたい観光地の情報をタイムリーに入手でき、スムーズに観光地間を巡れて、手軽にレコメンド出来るかが鍵になる。	その他
民藝美術館	昭和 24 年に鳥取の医師吉田璋也（明治 31 年～昭和 47 年）により、柳宗悦（明治 22 年～昭和 36 年）が見出した民衆的工芸すなわち「民藝の美」の思想の普及と、新たな創造の指針を示すため、鳥取の民藝運動の拠点として創設された。	民藝美術

(2) 鳥根県の団体・コンテンツ・ツアー等の内容

関係団体 or ツアー	概要	カテゴリー
ふれあい公園 笹遊里	県内で一番高い 三瓶山 を望める位置にある宿。	宿、研修・合宿
(株)石見銀山生活観光研究所（鳥根県大田市）	■ 古民家での滞在 を通じて体験する、もう一つの故郷の時間。 (株)石見銀山生活観光研究所（鳥根県大田市）、子会社の (株)他郷阿部家（同）は、世界遺産 石見銀山のある大森町において、古民家を改修・再生した、宿泊施設の経営を手掛ける。	古民家滞在
Yu-na 推進協議会	津和野町が経済的・社会的・環境的に持続及び発展をしていくべく、高付加価値型・長期滞在型の津和野観光の実現を目指す。そのために大きく 4 つの柱戦略を掲げ、町内外の様々な関係者と連携の元、各種取組を展開している。津和野お サイクリングツアー や 季節限定の蛍・里山ツアー なども実施している。	サイクリング、蛍・里山ツアー
水の都松江水辺ブランド創出協議会	宍道湖に浮かぶ小さな島「嫁ヶ島」を中心とした 水辺空間の景観や自然環境 を住民が主体となって地域の宝物として守り、水の都 松江の文化観光 の拠点として保全・活用している。	水辺体験、船旅
一般社団法人益田市観光協会	益田の神楽は SDGs～日本遺産「 石見神楽 」を多様な来訪者に届けるユニバーサル ツーリズム造成事業である。	石見神楽
株式会社 necco	三瓶山 周辺の 自然環境 を守り活用する、癒しと学びの商品開発事業である。	環境保全、農業体験
株式会社タビカラ	暮らしのプロに会う旅 in 雲南エリア 山陰に拠点をもち、 インバウンドに特化したデスティネーションマネジメントカンパニー である。外国人の視点と地方特有の課題の両面から、地方へのインバウンド誘客に一緒に取り組んでいる。	デスティネーションマネジメント

一般社団法人西ノ島町観光協会	隠岐諸島 パワースポット 西ノ島（西ノ島町）『フォトウェディングの商品開発』と『リ・ブライダルへの展開』事業。	フォトウェディング、リ・ブライダル
一般社団法人江の川・さくらライン観光推進機構	中国地方最大の河川 「江の川ブランド」 の創出。 「川船」×「鉄路」の軌跡 に築かれた流域独自文化をリアル×オンラインで繋ぐ、江の川スロートラベル造成事業。	河川トラベル
一畑電車（通称・ばたでん）	サスタビをするには、公共交通の活用がポイントで、松江から出雲へ向かうのに便利なのが 「一畑電車」 である。「バタデン」の愛称で親しまれており、地域の方の日常生活での足として年間多くの人に利用されている。松江からしばらくは宍道湖沿いを走り、出雲に近づくにつれてのどかな田園風景が広がる。週末には「デハニ 50 形」という昭和初期生まれの電車の体験運転を実施しており、子どもから大人まで、人気を博している。さらにこのバタデン、自転車をそのまま載せることのできる『サイクルトレイン』でもある。愛車に乗せて、 出雲サイクリング も楽しめる。	車窓の旅
酒蔵＆ワイナリー巡り	島根県の酒造りの歴史は古く、お酒にまつわる神話や祭りが多く残っている。そんな「日本酒発祥の地」とも言われる島根だが、出雲や松江にも多くの蔵元があり、 酒蔵見学 や 利き酒体験 を行っている。また、出雲大社からバスで3 駅のところにある「島根ワイナリー」では、いつでもワインの工場見学と、無料の試飲をすることができる。電車とバスで旅することで、CO2 を出さない上に、お酒を楽しみながら旅をすることができる。	酒蔵見学、利き酒体験
しまね田舎ツーリズム推進協議会	「しまね 田舎ツーリズム 」とは、農山漁村で、地元の人々との交流を通して、 農林漁業体験 やその地域の自然や文化、くらしに触れることができる。	農林漁業体験
農家民宿 梨の木原	蕎麦打ち体験 世界遺産に登録された「石見銀山」の隣町にある梨の木原は、山の高台にあり、くにびき神話ゆかりの「 三瓶山 」が望める山間の里である。ここでは、季節の野菜や旬の果物を収穫するなど、ありのままの 田舎の暮らしを通じた体験 ができる。また露天風呂は五右衛門風呂になっているので、薪割り機を使って薪をつくり、お風呂に水をはり、火をおこして風呂を沸かしていく。自分で焚いた風呂は格別、五右衛門風呂は体の芯から温まる。夜になると満天の星が望め、澄んだ空気と鳥や虫の声が、心を癒してくれる。	蕎麦打ち体験
民宿しまや	「民宿しまや」では イカの加工品づくり や 船釣り など、日本海を満喫することのできる体験を用意している。	イカの加工品づくり、船釣り
日御碕絶景 トレッキング	出雲エコツアー 日御碕絶景トレッキング 日御碕は、自然溢れる景勝地である。そんな日御碕エリアのトレッキングコースを進み、大自然の癒しや歴史、絶景を、〔歩いて、聞いて、見て、触って〕 体全身で味わう。	トレッキング
自然体験、エコツアー、野生生物調査などツアー色々ある	隠岐諸島 の独自の自然環境が未来永劫守られていくことを目指し、持続可能な地域づくりのための活動を行い、自然の恩恵を享受する多くの人々の利益や地域経済の発展・人々の住みよい地域づくりに寄与することが団体の目的である。	自然学校、エコツアー、自然体験
日本の神話が根づく地域、島根・江の川でアドベンチャーツーリズムを活かし欧米豪インバウンド客の誘致へ	人々が多いのも特徴である。豊かな自然と日本の精神文化にまつわる多様なコンテンツを持つ 江の川流域 は、まさに アドベンチャーツーリズム に必要な要素を兼ね備えている。 プロジェクトでは、まず12月から1月にかけて、現地調査や文献調査が進められた。そして、欧米豪のターゲットに刺さる観光資源をピックアップし、関係者へのヒアリング等をベースにモデルルートの開発が行われた。2月からは、モデルルートにあるコンテンツの強みと弱みを評価し、商品化に向けて磨きをかけるために、インバウンド専門家を招いて2泊3日のブートキャンプ（合宿型勉強会）が実施された。	アドベンチャーツーリズム
株式会社たなべたたちの里	田部家の たたらかき室 町時代初代彦左衛門が神夢によりたたらをはじめ600年。伝統と革新を繰り返しながら、先人より受け継いだ日本古来の鉄づくりの精神と技法を「 鉄師 」田部家が現代に伝える。	伝統工芸体験
株式会社 Visfactory	島根半島小波地区を中心とした海端コンテンツ活用ブランド構築事業。SUP 体験・講習、 SUP アドベンチャーツアー	サップアドベンチャーツアー

Heart Land Japan	「HASHIWATASHI プロジェクト」事務局(株式会社 NTT アド)は、支援事業のひとつである『 <u>江の川流域アドベンチャーツーリズム</u> プロジェクト』として、広島県の三次市から島根県の江津市を流れる江の川流域エリアを世界有数のアドベンチャーツーリズムの聖地とすべく、商品造成や販売に向けた磨き上げを行い、旅行商品の販売を2019年3月8日(金)より、Heartland JAPAN にて販売開始した。	アドベンチャーツーリズム
HITOTYAMA(ひとやま)	「HITOTYAMA」は、島根県出雲市を拠点に、山陰の野山をからだひとつで楽しむコトをつくっている。フリーランスの登山ガイド西山肇年(ただとし)が主宰している。	ハイキング、トレイル
HISOM	島根県大田市温泉津町の日祖(ヒソ)地区にできた <u>ゲストハウス</u> HISOM。古民家の魅力溢れる外観や建具を残しつつ、海外からのゲストも快適に過ごせるように改装を加えた中長期滞在者向けの宿である。	ゲストハウス
TRIP SPICE	TRIP SPICE は、ご縁の国しまねを舞台に自転車と地域の縁を結ぶ <u>サイクリングサービス</u> である。TRIP SPICE のサイクリングガイドは1日1組の個人ツアー。	サイクリング
ココリト大根島 大根島農業体験推進協議会	ココリトは大根島と湖周辺地域を満喫するために、2018年春オープン。農場に面した旧縫製工場をリノベーションし、快適空間が生まれた。ここを拠点に、 <u>ゲストハウス</u> 、 <u>島サイクリング</u> 、 <u>収穫・創作体験</u> を提案している。 <u>山陰双湖周遊</u> のナビゲーション機能も充実を図っていく。	ゲストハウス、島サイクリング、収穫・創作体験
知夫里島観光協会	<u>サップ</u> 、 <u>シーカヤック</u> のツアー、 <u>創作体験</u> などを実施している。	サップ、シーカヤック、創作体験
一般社団法人隠岐ジオパーク推進機構	「家族皆で自然を楽しむ」 そんなワクワクする時間をガイドと一緒に作って作り上げる 1日1組限定のプライベートツアー。(シーカヤック・スノーケル・魚釣り・アウトドア調理・夜釣り・星空観…体験ツアーメニュー)	シーカヤック、シュノーケル、魚釣り
瑞穂ハイランド	2人乗りタイプの迫力ある <u>バギー</u> に乗って、山の自然ならではの風や音、絶景を楽しみながら気持ち良く運転できる。安全性確保のため、施設スタッフが誘導のうえ案内している。	バギー
一般社団法人 飯南町観光協会	飯南町森林セラピーでは、 <u>森林浴</u> の持つ癒し効果をより五感で感じられるよう、森林セラピスト・森林セラピーガイドがサポートし、心身の健康増進・疾病予防を目指す取り組みをおこなっている。	森林セラピー
ゲストハウス かたゑ庵	美保関 <u>ゲストハウス</u> かたゑ庵で泊まる、 <u>カヤック</u> 体験。	ゲストハウス、カヤック
一般社団法人 出雲観光協会	日御碕 <u>トレッキング</u>	トレッキング
大久保間歩予約センター 株式会社 石見観光	<u>石見金山の間歩ツアー</u>	間歩ツアー
みなとオアシスゆう 有限会社 潮風	<u>地引網体験</u> 、 <u>海の生き物ふれあい学習</u> などの学習体験	地引網体験、海の生き物ふれあい学習

(3) 岡山県の団体・コンテンツ・ツアー等の内容

関係団体 or ツアー	概要	カテゴリー
一般社団法人 玉野コミュニティ・デザイン	玉野市が平成29年3月に策定した「たまの版生涯活躍のまち(CCRsea)基本構想」の実現に向け、事業祖中心を担う事業推進主体の認定を受け、旅行大手の(株)JTBと地元不動産会社の宇野港土地(株)により平成29年6月に設立された。北部「新温泉町」を中心に、自然体験活動の企画、ジオパークガイドを行っている。玉野市独自の歴史や文化、国内外に誇る豊かな自然環境等地域資源を活かした地域振興策を実践することで、新たな玉野の価値を創造し、ひいては地域社会の発展に貢献することを目的としている。	その他
SETOUCHI ISLANDER 宇野港土地株式会社	SETOUCHI ISLANDER は、瀬戸内海の島々と沿岸地域の旅をプロデュースする島旅専門トラベルサービスである。瀬戸内海を知り尽くした島のスペシャリストたちが、船旅と島旅を融合したエクスクルージブな瀬戸内海ステイを提案している。	その他

(ツーリズム事業部)		
のぶえ農園工房	体験型の農家民宿 里山の開放的な空間で色々な体験ができる。 ・ピザ窯でピザ作り、パン作り、くん製作り体験 ・農業体験（田植え、稲刈り、野菜づくり）・野菜の収穫、栗拾い、芋ほりなど ・縄ないや木工、自然素材を使って、リース作りなど	体験型農家
一棟貸のレトロな別荘 風里	100年前の小学校の講堂を改築した、別荘。一棟を丸ごと貸し切り可。大きな梁や窓からは、家の中に居ながらにして大自然を感じられる。30分以内に有名な美作三湯やひるぜん高原などのリゾート地も近く、静かな里山の中にあり、ゆっくり自然を満喫することができる。食事提供はないが自炊設備が完備されており、皆で料理作りが楽しめる。	古民家宿泊
農家民宿ファームテラス・たかくら	民宿のある岡山県津山市の高倉地域は、烏ヶ仙の麓に位置しており、自然豊かな里山で、のどかな 田舎暮らしを体験 できる。中国自動車道の津山インターチェンジから車で10分程度の所で、交通のアクセスがよいのも魅力である。民宿の前には、広い田畑が広がり、スモモや梅、イチジク、柚、ビワ、栗の木などがあり、様々な農作物や果樹の収穫体験ができる。また、裏山には、竹林が広がり大きな榎の木やみみの木、杉や檜があり、のんびりと周辺を散策することができる。	田舎暮らし体験
ベティスミス	国産ジーンズが児島で生産されはじめた当初から縫製を続けている日本最古のジーンズ工場を持つ、老舗メーカー。2つのジーンズミュージアムはジーンズの歴史や起源を学び、 ジーンズ作り体験 ができ、また長く愛用することのできるオーダーメイドデニムの製作も可能。	ジーンズ作り体験
みずしま滞在型環境学習コンソーシアム 〔事務局〕みずしま財団 公益財団法人水島地域環境再生財団	倉敷市の水島地区は、近代化に伴う大規模な開発で、工業を支えてる一方、公害を引き起こしてしまった過去がある。そんな背景から、豊かな海を取り戻し持続可能な地域づくりを進めること、そして2度と公害を起こさないために、環境・平和・災害・福祉について学べる取り組みをおこなっている。「 公害からの再生を学ぶコース 」や「 環境問題と産業の変化を学ぶコース 」など複数のテーマに基づき、 工場見学 や 底引き網漁業体験 などに参加できる。	工場見学、底引き網漁業体験
まにわ発酵ツーリズム	2012年、発酵に魅せられた真庭の酒蔵や企業、工房が集まり、同じ「発酵」でも真庭には多ジャンルの発酵があることに気づき結成された。日本酒や味噌、醤油などの歴史ある醸造所から、クラフトビール、ワイン、蒜山ジャージーミルクを使ったチーズ。和洋さまざまな 発酵文化 を持つ者たちが集まっている。	発酵文化、食文化の発信
BASE 101% - NISHIAWAKURA-	百年の 森林構想 を引っ張る存在の1つが「西栗倉村森の学校」である。ローカルベンチャーの先駆けとして、後発ベンチャー企業の育成事業や、林業の6次産業化、 農福連携事業 などを手掛けている。そんな西栗倉森の学校が2022年3月にオープンした複合施設が、可能性発掘基地「BASE 101% -NISHIAWAKURA-」で西栗倉で採れたDIY用アウトレット木材の販売が一番の人気である。木材工場の一部を改修したレストラン&カフェでは、ジビエや産直野菜たっぷりのランチを提供している。	農福連携、いちご摘み体験
藤クリーンリサイクルセンター	株式会社藤クリーンが運営するリサイクルセンターでは、子どもの社会科見学を始め、一般の大人も含めた誰もが施設見学ができる。あまり知られていない 産業廃棄物の現状やリサイクル について、現場で見て、学べるほか、再生処理された土や廃材でできた「 バイオガーデン 」があり、自然の循環や地域の生き物に触れることもできる。	産業廃棄物の現状やリサイクル、環境学習
蒜山ツアーデスク	「 蒜山ツアー デスク」は、2018年、環境省から第13回日本エコツーリズム大賞「特別賞」を受賞した。ツアーの説明を受けた後、ヘルメット・カップ・ライフジャケット・軍手・軍足を身にまとい、いざ冒険に出発、現場を熟知したガイドが、小学校高学年から年配の方まで体力に合ったルートを案内してくれる。	エコツーリズム、スノーシュー、氷柱めぐり
吉備中央町観光協会	吉備高原の大自然の中での 乗馬レッスン を体験可能。	乗馬体験

【岡山・蒜山】見所一杯感動一杯！！大藪漕ぎと巨木巡りトレッキング	2018 年日本エコツーリズム大賞特別賞（環境大臣賞）受賞のプロのガイド集団が案内するプランである。真庭市蒜山下和（したお）には地元の人でさえ足を踏み入れない秘境の地、 <u>山乗溪谷</u> があり、その源流部に広がるブナの原生林を、経験豊かな 蒜山ツアー デスクのメンバーが案内する。ガイド無しだと天候等の悪条件で方向感覚を失うことがあり、リスクが高いが、昨年 1000 名以上の案内実績のある安全なツアーを提供している。	エコツーリズム
IT plan	桃太郎の温羅（鬼）伝説にまつわる 遺跡のご案内、水島工業地帯の夜景 など、「地元だから知っている」「地元だから分かる」岡山の魅力を旅行プランに盛り込んでいる。長い歴史のある「中世の六古窯」の 1 つである「 備前焼作り体験 」や、「 児島ジーンズ作り体験 」、「 フルーツ狩り 」、「 農業体験 」、さらには「 田舎でのショートステイ 」まで、お客様が体験したいプランを選べる。その他、お客様のご要望により体験プランを作成することも可能である。 ※岡山市と隣接市町村（倉敷市、総社市、玉野市、瀬戸内市、備前市、赤磐市、久米南町、美咲町、吉備中央町、早島町、香川県土庄町）が対応エリアである。	体験ツアー造成
ポウケンノモリ HIRUZEN	蒜山高原の東端に位置する里山「中和（ちゅうか）」地域の森に誕生した「ポウケンノモリ ひるぜん」。大人もスリル満点のアドベンチャーコースとお子様も楽しめるチャレンジコース。森の中をオフロードセグウェイで突き進むフォレストセグウェイツアーの合計 3 種の アクティビティ が用意されている。	ツリートップアドベンチャー、セグウェイ
カヌーパーク OKAYAMA(オカヤマ)	岡山城と後樂園のあいだを流れる旭川を旅する カヌーツアー である。JRCA 資格取得者がガイドを行っている。	カヌー
新庄村森林セラピー協議会	新庄村は村全体が NPO 法人森林セラピーソサエティの行う生理心理実験によって森の癒し効果が科学的に実証・認定された「 森林セラピー基地 」である。さまざまなモデルコースが用意されており、参加者の体力や希望に沿って、時間やコース、体験内容などを自由に設定が可能である。	森林セラピー
蒜山ガイドクラブ	蒜山の自然や気候・文化に合わせた体験プログラムを多数用意している。下記の項目を選ぶことができる。 登山、湿原観察、大山古道のツアー、リバートレッキング、きのこ鑑定会、スノーシュー、スキーハイキング、野鳥観察会、文化財めぐり、地史観察会、星空観察、野外活動体験、クラフト体験	登山、湿原観察、大山古道のツアー、リバートレッキング、きのこ鑑定会、スノーシュー、スキーハイキング、野鳥観察会、文化財めぐり、地史観察会、星空観察、野外活動体験、クラフト体験
北房まちの駅 一般財団法人北房観光協会事務局	宿泊、体験型の観光。自然・神秘スポット巡り体験	神秘スポット巡り、野菜収穫体験、お寺体験
大佐山オートキャンプ場	シャワートレッキング、カヌー体験、洞窟探検 などの体験イベントがある。また、不登校や引きこもりの問題に、非認知能力育成プログラムという学びのプログラムを提供している。	シャワートレッキング、カヌー体験、洞窟探検
美星天文台	美星天文台は岡山県井原市美星町にある公開天文台で、誰でも気軽に天体観察が楽しめる。	天体観測
美作市 季譜の里	湯治の湯 、美肌の湯として 1200 年以上の歴史を持つ湯郷温泉。湯治の湯、美肌の湯で体と肌を癒し、花と料理で心を癒す。	温泉
FAN 美術館（藤原啓記念館）	備前焼 作家で人間国宝の藤原啓の足跡ともいうべき年代ごとの代表作品や、彼が影響を受けた古備前を一堂に集めて広く展示・公開している。備前焼の振興と文化の高揚に寄与する記念館で、藤原啓の長男で人間国宝の藤原雄の作品も多数展示している。	備前焼、美術館
牛窓ウォータートレイル	牛窓の海を知り尽くしたガイドがプロデュースする各種ツアー。漕ぎ渡った無人の島で浜カフェや浜辺食堂を開店するコース。小学生から参加できるコースや浜辺キャンプの楽しめるコースもある。	シーカヤック

(4) 広島県の団体・コンテンツ・ツアー等の内容

関係団体 or ツアー	概要	カテゴリー
らびっど kayak School	カヤック の楽しみ方の一つとして人気のある、フリースタイルカヤック。このフリースタイルカヤックを中心として、漕ぎ方のイロハから応用の入り口までを丁寧にサポートしている。	カヤック
Outdoorbase Bear [アウトドアベース ベア]	「 特別名勝 三段峡 」を歩きながら、四季折々の生き物や植物の観察と溪谷美を鑑賞するドロップスを象徴する ツアー です。顧客のリクエストを基に、ガイドがその日の一番良いコースを案内し、三段峡を野外博物館に見立てたミュージアムツアーである。小さなお子様から年配の方まで気軽に楽しめる。 陶芸教室 もある。	エコツーリズム
江の川カヌー公園さくぎ 運営会社 NPO 法人 元気むらさくぎ	中国山地の中央、広島県三次市作木町にあるアウトドア施設である。 カヌー体験 や水遊びをはじめ、コテージや キャンプ での宿泊も楽しめる。学校での修学旅行や野外活動、社員研修や子供会などの団体利用の受け入れもしている。	カヌー、キャンプ、Eバイク、温泉
TEAM NARU(チームナルル)	1. ウインドサーフィン 体験プラン： ビギナー限定ウインドサーフィン体験プラン 2. タンデムウインドサーフィンプラン：誰でも当日すぐに乗れるガイド同乗二人乗りのウインドサーフィンプラン 3. ウインドサーフィン& SUP プラン： 一日でウインドサーフィンと SUP を一度に楽しみたい方向けよくばりプラン 4. SUP 体験プラン： 始めて SUP をされる方向けの体験プラン 5. 宮島 SUP クルージング プラン： 広島県人さえも訪れることの出来ない秘境の地宮島 SUP クルージングプラン対象者⇒ 初心者〜エキスパート、広島観光客、広島の秘境の地を知りたい広島県人向け 6. BIG SUP： 10 人乗り B I G SUP でみんなでワイワイプラン	ウインドサーフィン体験、サップ体験、サップクルージング
SUP 宮島 運営 Setouchi Experience	Stand Up Paddle や カヤック を使い、島内の各所でエコツアーを行っている。	Stand Up Paddle やカヤック、エコツーリズム
MAGIC ISLAND(マジックアイランド)	マジックアイランドは、広島のお土産 アクション系スポーツショップ で、プロのインストラクターが在籍し、安心して安全な SUP の体験教室をはじめとした、様々なスポーツのレッスンを開催している。スポーツに必要なアイテムが購入できるショップの運営や、スポーツに関連したイベント企画などもおこなっている。	サップツアー
HART アドベンチャーセンター	初心者から楽しめるシャワートレーキングを始め、シャワークライミング、カヌー、川遊び、キャンプ等いろいろな遊びのプログラムを企画・運営している。	シーカヤック
広島市湯来交流体験センター 運営：NPO 法人湯来観光地域づくり公社	広島市中心部から車で 1 時間。広島のお土産である温泉街と、豊かな自然が広がる湯来温泉に、自然体験プログラムや伝統的な農林業、歴史、文化を体験する施設として、2009 年にオープンした シャワークライミング等の川のプログラム、登山、収穫体験、そしてキャンプや BBQ などが楽しめる。	シャワークライミング、登山、収穫体験、キャンプ、アドベンチャーツーリズム
ほしはら山のがっこう NPO 法人ほしはら山のがっこう	ほしはら山のがっこうは、廃校となった木造校舎「三次（みよし）市立上田小学校」を活用し、一部改装した施設である。標高は約 450 m、星が近くて、秋には霧の海の上、「雲の上」の学校である。誰でも泊まりや日帰りで校舎を利用でき、イベントの開催にも使うことができる。対象に合わせた体験プログラムもある。また、年間を通して「ふるさと自然体験塾」や「山のがっこう開放日」が開催されている。	自然体験塾、森の遠足、電動レンタサイクル、里山ネイチャーゲーム、そば学校
O.M.S(Oasa Mobility Station)(オー・エム・エス) 運営会社：(有)大朝交通	バスの駅だった大朝駅がサイクリストや観光客が集える場所、その名も大朝モビリティステーション『O.M.S』となり、スポーツタイプの 電動アシスト自転車 (E-BIKE) で 大朝を巡るツアー をおこなっている。	E バイク
株式会社 mint	世界中の街や地域にはその土地ならではの雰囲気を作ってきた歴史や文化があり、そこで生活する人々がいる。そんな「ここにしかないストーリー」を感じることができるよう、地元ガイドと一緒に 電動自転車で街を巡る交流型のツアー である。	サイクリングツアー

株式会社地域ブランディング研究所	観光庁などの省庁や地方自治体向けの観光コンサルティング、文化体験やアクティビティなどを提供する地域事業者の企画販売サポートなどを行っている。地域に寄り添いながら、ゆくゆくは外部からのサポートなしで、地域が主体となって運営できる「地域自走」の状態までの伴走に取り組む。 具体的なサポート事例として、江戸時代から続く東京・浅草の花柳界「浅草花街」で芸者衆の存続・花街芸能の継承のサポートを行うプロジェクトや、広島・しまなみ海道エリアでの体験型観光コンテンツ造成に取り組むプロジェクトなどがある。	アドベンチャーツーリズムや滞在型観光
宮浜アドベンチャーズ 運営主体：(株)地域ブランディング研究所 Attractive JAPAN チーム	宮島の裏側にある雄大な自然を冒険する カヤックツーリング 、太平洋を一周した冒険家と行く セーリング 、海の上に浮かぶ 海上レストラン 、周辺の島への クルーズ&サイクリングツアー 、プライベートビーチでの島時間、宮島と瀬戸内の絶景広がる経小屋山 トレッキング などをおこなっている。	カヤックツーリング、セーリング、クルーズ・サイクリングツアー、トレッキング
SETOUCHI Seakayak Adventures 村上水軍商会	村上水軍商会では、広島県福山市にある鞆の浦での シーカヤックアテンド を行っている。潮待（しおまち）とは、まだ帆船で旅をしていた時代、乗りたい潮の流れが来るまで港などに停泊すること。鞆の浦は「潮待の港」と呼ばれ、瀬戸内海のちょうど中心に位置しており、昔から旅人を受け入れ見送ってきた。ガイド歴は20年以上。日本レクリエーションカヌー協会公認のガイドであり、安心安全なツアーで世界中の方から好評を得ている。	シーカヤック
瀬戸内案内舎たびたす	しまなみ海道は瀬戸田（生口島）をベースに、 サイクリングガイドツアー ・レンタサイクルサービスを提供している。	サイクリングガイドツアー
一般社団法人 庄原観光推進機構	旅行事業 「地元の人がおススメする場所を巡りたい」「地元の魅力をもっと知りたい」など好奇心旺盛な旅行者に向けて、ローカルツアーやアクティビティをプロデュースしている。	牧場体験や林業体験、ツリーアドベンチャー、ラフティング
レイジーボーンズ (LAZYBONEZ) 株式会社 K&K コーポレーション	地元サーファーが集う LAZYBONEZ。サーフィン&スケートボードに加え、 SUP(スタンドアップパドル)ツアー も用意している。世界文化遺産の宮島まで漕ぎ出しができる。	サップツアー
株式会社麻世勝エビス	人力車による観光ガイド 。本社は東京にあり、フランチャイズ店が宮島にある。	人力車
北びんご観光連携協議会 広島県府中市経済観光部観光課観光振興係	新幹線が通る海沿いの自治体に比べて劣る山間部の交通アクセスや、宿泊施設の少なさによる滞在時間の短さなどの課題の打開を図るため、府中市・世羅町・神石高原町は連携した観光振興に取り組んでいる。3つの市町が持つ地域資源を点から線、面にしていき、それぞれの強みを生かしあうことで、観光産業の発展、地域活性化を目指している。	ドローン体験、アクセサリーづくり体験
一般社団法人 My Japan	My Japan には、日本の伝統工芸品の職人、様々な芸術家、日本の宗教の専門家など日本文化に携わる沢山の人が集まり、日本の魅力を、楽しみながら学べるよう活動している。またワークショップや講座、体験型のツアーやイベントをおこなっている。	日本文化体験
一般社団法人 せとうち観光推進機構	瀬戸内ブランドを確立し、地域経済活性化や豊かな地域社会実現を目的とし、瀬戸内の魅力を国内外に向けて発信して来訪者（交流人口）の増加を図っている。 そのことで域内事業者と住民の意欲を喚起するとともに、新しい産業と雇用の拡大を促進し、定住人口の増大につなげ、自立的かつ持続的な成長循環を創り上げることを目指している。	その他
地域商社あきおおた（あきおおたから） 一般社団法人地域商社あきおおた	SUP や カヤック などの体験アクティビティ予約から森林セラピー、ハンモック等のレンタル商品まで幅広く予約、申込みができる。	サップ、カヤック
NPO 法人 Peace Culture Village	一人一人にとって平和な世界を構築するための役割、ビジョンを磨くための機会・場所作りを行っている。プログラムで大切にしていることは、自由な探求と個々人の気づき、そして私たち一人ひとりから生まれ出てくる平和文化である。人々の新たな視点とそれぞれの「平和のピース」が平和文化をより良いものへと育み、世界にその輪を広げている。	平和学習

一般社団法人 地域グローバル人材 支援協会	●事業内容 (1)帰国願望と地域貢献欲求のある米国在住日本人等の人材紹介事業 (2)自治体への交流人口、関係人口増加促進のための地域体験生活ツアーの企画、立案、運営 (3)地域のインバウンドツーリズム事業を牽引する人材の育成 (4)訪日観光ガイドの育成及びガイドの斡旋事業（My Travel Buddy） (5)地域のインバウンド観光促進に関する各種支援、マーケティング及びコンサルティング事業 (6)インバウンド観光商品の企画、立案、制作、製造、販売、通信販売及び輸出入 (7)訪日観光旅行者及び海外ツーリズム事業者を対象とする各種メディア運営事業 (8)その他当法人の目的を達成するために必要な一切の事業	インバウンドツーリズム
特例認定特定非 営利活動法人 三段峡-太田川流域 研究会	主なフィールドは、国（文部科学大臣）が文化財保護法に基づいて指定した特別名勝三段峡と、広島県を流れる一級河川で中流域は環境省の名水百選に選定されている太田川流域である。三段峡をモデルに環境保全と歴史文化の伝承・教育人材育成に取り組んでいる。三段峡は、電源開発等の人と自然の狭間に苦しみ歴史があり、三段峡をOutdoor-museumと位置づけ、その歴史や文化自然のデータを収集・研究・公開し続けている。	ネイチャーツアー、自然体験
一般社団法人フウド	江田島市を中心とした広島湾周辺地域の風土を生かした活動を通じて、地域の活性化に寄与し、次世代に誇れる文化を創造していくことを目的に活動している。	—
株式会社バルコム	旅行事業 海外・国内のバイクツーリングを企画・提供をしている。ヨットやクルーザー、ロールスロイスに乗ってプライベート広島ツアーも取り扱っている。	バイクツアー、プライベートクルーズ、ロールスロイスハイヤー
株式会社 TORNOS	「 <u>宿泊業で地方創生</u> 」をビジョンに掲げ宿泊事業を展開:宿泊物件の運営・管理,不動産事業	宿泊事業
NPO 法人 瀬戸内サイ クルメディア	自転車の素晴らしさと瀬戸内の魅力を発信している。オリジナルデザインサイクルウェアなどの製作販売している。	サイクリングガイドツアー、E バイクポタリングガイドツアー
自転車観光案内 ぼたりん	ポタリング = Pottering とは、自転車散歩という意味の和製英語、のんびりリラックスした雰囲気の中で、風景を愛で、情緒を楽しむ「自転車観光案内ぼたりん」	E バイクサイクリングツアー
GetHiroshima	広島市のメディア会社 日本在住歴 20 年のイギリス出身編集長ポールを筆頭に、広島を訪れる海外からの観光客向けに、ウェブサイトでの情報発信と、年 4 回発行の英語版フリーマガジン「GetHiroshima」を発刊する。関東や関西に比べてコンパクトな広島街ならではの魅力を、ローカルに、よりディープに発信し続ける。	その他、外国人向け情報サイト
一般社団法人 しまな みジャパン	「 <u>しまなみ</u> ジャパン」は、しまなみ海道沿線にある 3 市町、広島県尾道市、愛媛県今治市、同県上島町を中心に構成された日本版 DMO（Destination Management/Marketing Organization）である。しまなみ海道の観光情報発信、体験ツアーの開催、サイクリング PR、食のブランディング等、しまなみ海道の魅力を世界へ伝えるため、幅広い取り組みを行っている。	その他、情報サイト
株式会社 JizoHat	2000 年に広島に外国人在住者の力になりたいと始めた GetHiroshima.com。毎春発行の英語版広島のシティマップは、2020 年で 15 年の節目を迎え、季刊誌マガジンは 16 号迄全力投球で発行し、2018 年 5 月に株式会社 JizoHat を設立。地域や企業のポテンシャルを磨き上げ、訪日外国人の活動フィールドを「瀬戸内」に。各地域のプロフェッショナルが連携し、企画から戦略立案、実施、効果測定までワンストップ体制でサポートしている。	インバウンド観光

(5) 山口県の団体・コンテンツ・ツアー等の内容

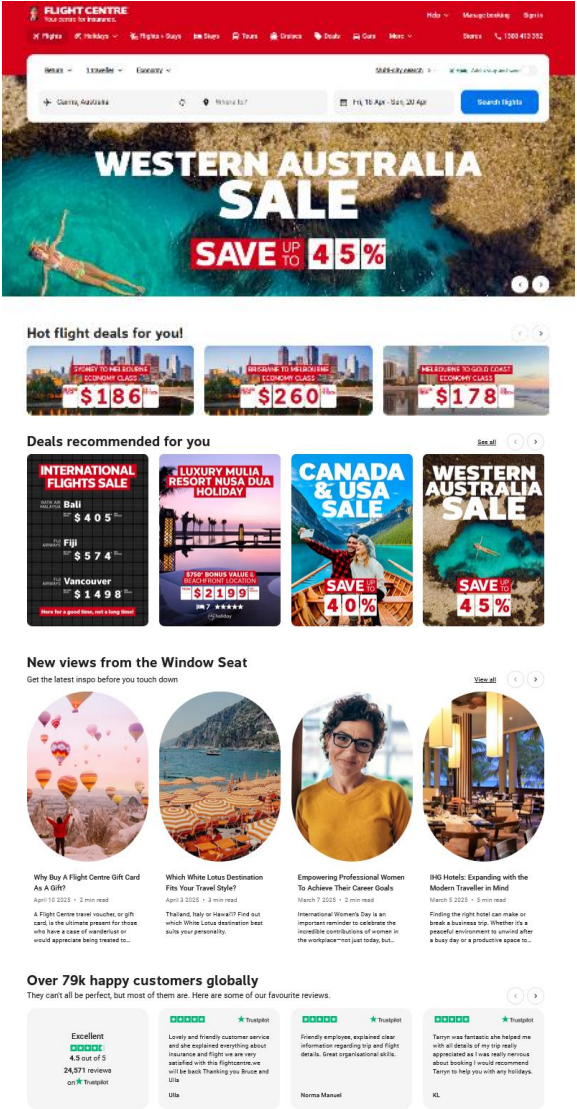
関係団体 or ツアー	概要	カテゴリー
秋吉台アドベンチャー・ツアーズ	<u>秋吉台</u> に460ある洞窟の中から美しさ、難易度を厳選したうえで案内している。ただ洞窟を探検するだけではなく絶景を堪能することもできる。（すべてのコースで地底湖でボートを遊覧できる。）	洞窟探検
はぎまえ698合同会社	FURUSATO <u>サイクリング【日本酒づくりのすべてを巡るサステナブルコース】</u>	サイクリング、日本酒造り
山口県漁協江崎地区女性部	れんこ鯛の <u>干物づくり</u> を伝授している。	干物づくり
ラフティングNEO	錦川での <u>ラフティング、タッキー、リバーサップ、シャワートレッキングツアー</u>	ラフティング、タッキー、リバーサップ、シャワートレッキングツアー
Mine 秋吉台ジオパーク	Mine 秋吉台ジオパークは、白・黒・赤をテーマにしているジオパークである。石灰岩（白）でできたカルスト台地「秋吉台」、無煙炭（黒）を産出する「大嶺炭田」、そして東大寺の大仏に使われている銅（赤）を産出した「長登銅山跡」などの見どころがある。地形特有人々の歴史や生活はもちろん、それを作り出した地球のダイナミックさを体感することができる。	ジオツアー
ポーター株式会社	アウトドアコンサルティング事業 エクストリームスポーツと脳科学の知見を組み合わせた独自メソッドを用い、その地域・地形・自然環境を活かしながら、感動を呼び起こし目覚めるアウトドアツーリズム開発を提案・支援している。 PPP/PFI 事業などを含めた大規模な計画から、公園施設の有効活用まで対応し、また、スポーツ施設へのスラックライン & ボルダリングクライミングウォール導入への施設設計・施工もサポートしている。	アウトドアコンサルティング事業
やまぐち萩往還語り部の会	萩往還語り部の会では、4つのコースを設定し、土日・祝日には参加費500円でガイドが見どころを案内、全コース歩かれた方には完歩証明書を発行している。	ウォーキング
一般社団法人 美祢市観光協会	<u>秋芳洞、大正洞などのツアー</u>	秋芳洞、大正洞などのツアー
GI Paddlers(ギ・パドラーズ)	<u>パドリングナビゲーションとインストラクション</u> カヤック、ギア、ウェア等の販売	パドリングナビゲーションとインストラクション
二尊院宿坊えんとき	境内には一日一組限定の『宿坊えんとき』があり、海が間近に見える境内に宿泊できる。また座禅・絵写経・滝行・腕輪念珠づくりなどの仏教体験を行い、夜には坊主バーで住職と語り合うことも可能である。二尊院では様々な日帰り体験を受け付けている。▶ 座禅体験 ▶ 絵写経 ▶ 滝行体験 ▶ 腕輪念珠づくり ▶ 和ろうそく作り体験 ▶ 厄除けクルージング体験 ▶ 護摩行体験 ▶ お琴体験	座禅体験、絵写経、滝行体験、腕輪念珠づくり、和ろうそく作り体験、厄除けクルージング体験、護摩行体験、お琴体験
Labu フロンティア協会	都道府県営ダム総貯水量全国3位（中四国・九州最大級）を誇る阿武川ダム湖を活用した アクアレジャー施設 である。昭和42年から8年の歳月を費やし昭和50年に阿武川ダム完成。ダム建設に伴い、複数の集落が水没。水位により、水没集落跡を垣間見ることができる他、四季折々の湖上風景を散策したり、フィッシングを楽しむことができる。	アクアレジャー
萩ふくや	レンタル着物 とそれらをいかした体験プランがある。	着付け体験
山口県東部海域にエコツーリズムを推進する会	地域の自然や歴史・文化などを活かしたプログラムを企画・運営するエコツーリズムを推進することにより、自然と人との関わりや環境保全の大切さについて考えるとともに、人々の交流による地域活性化を促進し、魅力あふれる元気いっぱいの地域づくりに寄与している。	エコツーリズム
PANARI	「パナリ」は、息をのむほどの絶景ビーチに佇む コンテナハウスリゾート 。マリンスポーツ、サイクリング、散策、読書、BBQ など、ステイスタイルは自由で、ご家族やグループ、お一人様も楽しめる。	マリンスポーツ、サイクリング、散策、BBQ
株式会社 天白ひらこし[ふく楽舎]	天然のとらふくのおいしさにこだわり、本場下関より全国の有名料亭、 ふく専門店 への卸業務に携わるフグ仲卸の株式会社平越商店の関連会社である。	ふくの料理教室

茶宗天地	一服の <u>お茶</u> を心行くまでゆっくりと味わえる。海の青・木々の緑・鳥のさえずり・波の音・茶葉から漂う清々しい香りそんな全てが味わえる。	着物体験、食文化体験
一般財団法人 山口観光コンベンション協会	山口市で開催される MICE をバックアップするため、コンベンション概要、開催支援サービス、施設案内、観光情報などをご提供している。	その他、情報サイト
一般社団法人 長門市観光コンベンション協会	観光宣伝及び観光客の誘致等観光に関する諸施策を行うこと並びに 長門市 における観光事業の健全な発達と振興、併せて地域の活性化を図り、市民の生活、文化及び経済の向上発展に寄与することを目指している。	その他、情報サイト

(6) 海外サイトによる日本のコンテンツの発信状況

サステナブルツーリズムやアドベンチャーツーリズムに関するコンテンツやツアーを発信・販売されている海外サイトにおいて、日本のコンテンツやツアーがどのような項目に掲載しているか確認・整理した。

なお、海外サイトについては、「FLIGHT CENTRE」、「Onlyluxe Travel」の2つのサイトで確認を行った。

FLIGHT CENTRE	Onlyluxe Travel
 FLIGHT CENTRE WESTERN AUSTRALIA SALE SAVE UP TO 45% Hot flight deals for you Deals recommended for you New views from the Window Seat Over 79k happy customers globally	 Onlyluxe Travel THE ADVENTURE STARTS HERE HOLIDAY TYPES FEATURED EXPERIENCES
出典:FLIGHT CENTRE HP	出典:Onlyluxe Travel HP

① FLIGHT CENTRE による発信状況

上記のサイトで掲載されている日本のコンテンツについて、以下の項目で整理を行った。

コンテンツ名	13-Day Japan Tour: Tokyo, Mount Fuji, Kyoto, Nara, Osaka & Beyond			カテゴリー	文化の深掘り		
旅行会社	The Dragon Trip						
概要	Join us on a whirlwind 13-day budget tour of Japan that promises a different experience every day! Discover Japan's rich tapestry of contrasting landscapes, from modern metropolises to tranquil temples, on a backpacker's budget. Immerse yourself in the heart of this fascinating country, packed with both top tourist spots and off-the-beaten-path gems. Journey on Japan's renowned high-speed bullet trains, savor mouthwatering sushi, and let your voice soar at karaoke bars. Explore Tokyo's iconic attractions, embrace the serenity of Kamakura, unwind in an onsen in Hakone, and uncover the treasures of Kyoto. Visit Hiroshima's Peace Memorial Park and its stunning landmarks, and savor the vibrant streets of Osaka. This adventure is designed for both the young and the young at heart, offering an authentic, budget-friendly experience that you'll treasure forever.						
旅のハイライト	—						
旅行期間	13 日間		1 人あたりの価格		記載あり		
旅程 (詳細の記載あり)	Day 1: Tokyo Arrival & Sushi-Making Fun Day 2: Markets, Temples & Akihabara Day 3: Shrines, Style & Shibuya Day 4: Fujikawaguchi & Majestic Mount Fuji Views Day 5: Kamakura’s Temples & Calligraphy Class Day 6: Hakone’s Pirate Ships, Ropeway & Onsen Experience Day 7: Bullet Train to Kyoto Day 8: Temples, Torii Gates & Historic Gion District Day 9: Head to Nara Famous Bowing Deer Day 10: Meditation in a Zen temple, Kyoto Cycling trip & Travel to Hiroshima Day 11: Hiroshima Peace Memorial Museum & Miyajima Island Day 12: Explore Shinsaibashi & Shinsekai in Osaka Day 13: Sayonara Osaka!						
記載内容							
対応言語	英語	ガイド対応	●	食事	●	輸送	●
宿泊施設	●	フライト	●	オプション	●	保険	●
行き方	—	天気と気候	—	持続性	—		
その他	旅程の補足 等						

コンテンツ名	Japan Classic 10 Day - One Life Adventures			カテゴリー	エクスプローラー		
旅行会社	One Life Adventures						
概要	Japan is a magical place where old and new collide. A country full of incredible natural beauty, futuristic cities of neon, world-renowned food, and a culture steeped in tradition. Japan has a way of enveloping you from the moment you step off the plane. The unique culture and friendliness of the people will stay with you forever. From partying in the famous Shinjuku area of Tokyo to walking down the stone paths passing Geisha in the Gion district in Kyoto, One Life Adventures - Japan is an immersive adventure tour and will show you the best of the country in 10 days. Starting in Tokyo and finishing in Osaka we explore the iconic areas of Japan plus some places off the tourist trail. By the end of the 10 days you would have lived and breathed the Land of the Rising Sun. Want longer in Japan? Try our 14 day tour! *Please note that this is an active, fast-paced, backpacking style tour with a lot of walking. Please make sure you're adequately prepared. The majority of our guests on this tour are in their twenties.						
旅のハイライト	—						
旅行期間	10 日間		1 人あたりの価格		記載あり		
旅程 (詳細の記載あり)	Day 1: WELCOME TO JAPAN Day 2: EXPLORE TOKYO! Day 3: SUSHI MAKING CLASS & DOWNTOWN TOKYO Day 4: TRAVEL TO HAKONE & MT FUJI VIEWING Day 5: TEMPLE STAY Day 6: ARRIVE IN KYOTO & GION WALKING TOUR Day 7: KYOTO TEMPLE & SHRINE TOUR Day 8: GOLDEN PAVILION, ZEN GARDENS AND KENDO CLASS Day 9: BAMBOO FOREST, ARRIVE IN OSAKA, FOOD TOUR AND KARAOKE Day 10: DEPART						
記載内容							
対応言語	英語	ガイド対応	●	食事	●	輸送	●
宿泊施設	●	フライト	●	オプション	●	保険	●
行き方	—	天気と気候	—	持続性	●		
その他	旅程の補足 等						

コンテンツ名	Japan: Koya-san & Kumano Kodo Trek			カテゴリー	アクティブ		
旅行会社	Intrepid Travel						
概要	Stray off the tourist trail with an eight-day hiking adventure on some of the great ancient pilgrim routes in Japan. The Koya-san and Kumano Kodo treks take you deep through the wilderness and into the mountainous landscapes of Honshu, as you gain insight into the strong connection with past and present pilgrims. Along the way, stop by peaceful temples and monasteries, soak in traditional onsen and discover the cultural hubs of Kyoto and Osaka. This small-group adventure will give you both a physical and cultural workout around the best of enchanting Japan. The active nature of this trip means that the fitter you are, the more you will be able to enjoy it. It is expected that travellers joining this trip will have had some experience hiking before joining this tour. On some hikes you will need to be able to carry your overnight pack on the trail because we will forward your luggage to the next destination. Hiking distances vary from 3 to 15km per day with no more elevation change than 60 to 900 m on one hike. The hikes on the Koya-san trail and Kumano Kodo include sections rather than the whole trail, which gives you an experience of the trails without needing to commit to multiple days of strenuous trekking. When we aren't hiking on this trip, we primarily use public transport, which is efficient and convenient in Japan. Please pack light and compact as you will be expected to transport your luggage between train stations and to hotels, which can include going up and down multiple flights of stairs in crowded areas. In some destinations, you may be staying in a ryokan, which is a Japanese-style inn. It's a great taste of tradition; however, not everyone finds futon mattresses on the tatami floor, tiny bathrooms and proximity to other guests as comfortable as more Western-style hotels.						
旅のハイライト	—						
旅行期間	8 日間		1 人あたりの価格		記載あり		
旅程 (詳細の記載あり)	Day 1: Kyoto Day 2: Kyoto (Hiking) Day 3: Koya-san (Hiking) Day 4: Yunomine Day 5: Kumano Kodo to Koguchi (Hiking) Day 6: Kumano Kodo to Kii Katsuura (Hiking) Day 7: Osaka Day 8: Osaka						
記載内容							
対応言語	英語	ガイド対応	●	食事	●	輸送	●
宿泊施設	●	フライト	●	オプション	●	保険	●
行き方	—	天気と気候	—	持続性	●		
その他	旅程の補足 等						

コンテンツ名	Cycle Japan			カテゴリー	食品と料理		
旅行会社	Intrepid Travel						
概要	From world-class sushi to legendary geisha, enthralling Japan is the perfect destination to discover by bicycle. Our cycling adventure gives you a slowed down, up close look of this fascinating country and allows ample opportunity to meet locals and glimpse the unique culture of the Land of the Rising Sun. From the temples, shrines and geisha of Kyoto to the frenetic but exhilarating chaos of Tokyo, and the beautiful mountain serenity of the Gifu Prefecture countryside in between, this cycling adventure has it all. While the cycling distances on this trip are relatively short (anywhere from 10 to 80 km / 6 to 50 miles of cycling each day) the terrain of the Gifu Prefecture is naturally hilly and the climate can vary dramatically. Most people with a reasonable level of fitness will enjoy the trip, but you will always have the support vehicle on hand if you need to take a break for an hour or a day. To complete this trip it is important that you are confident and competent in riding a bicycle, both solo and in a group environment. While we always aim to ride to our next accommodation, outside of the main cities a support vehicle will also be with you at all times. In Japan, we can fit a maximum of four cyclists in the support vehicle. On this trip we have a single leader that rides with the group, and another that drives the support vehicle (acting as a back-marker where needed). Where the vehicle cannot travel directly with the cyclists (e.g. a cyclists-only path) your leader will assign a person from the group to act as a back-marker. If you feel like doing all the riding but with less effort we have the option of hiring an electric bike (e-bike) on this trip. Limited sizes are available so book quickly! When we aren't cycling on this trip, we primarily use public transport, which is efficient and convenient in Japan. Please pack light and compact as you will be expected to transport your luggage between train stations and to hotels, which can include going up and down multiple flights of stairs in crowded areas. Double rooms in Japanese hotels can be smaller than you may be used to (e.g. 20 sqm). Every effort will be made to accommodate double room requests. However, during busy periods, there may be occasions when we are unable to offer a double room, so a twin room will be provided.						
旅のハイライト	—						
旅行期間	11 日間		1 人あたりの価格		記載あり		
旅程 (詳細の記載あり)	Day 1: Kyoto Day 2: Kyoto Day 3: Nara & Kyoto Day 4: Lake Biwa & Hikone Day 5: Gero Onsen Day 6: Takayama Day 7: Gujo Hachiman Day 8: Gifu Day 9: Tokyo Day 10: Tokyo Day 11: Tokyo						
記載内容							
対応言語	英語	ガイド対応	●	食事	●	輸送	●
宿泊施設	●	フライト	●	オプション	●	保険	●
行き方	—	天気と気候	—	持続性	●		
その他	旅程の補足 等						

コンテンツ名	Japan Real Food Adventure			カテゴリー	食品と料理		
概要	Take your tastebuds on an 11-day culinary journey through Japan's most delicious hotspots, relishing the flavours of the land of the rising sun. Uncover the secrets of sushi in Tokyo, pick local produce with an expert in Kanazawa, feast on plant-based monastic cuisine in Koya-san, meet local farmers in Uji and go on a food crawl in Osaka. Take part in cooking classes, cooking demonstrations and market visits, feasting on local delights along the way. From temples to tempura, shrines to sashimi, seafood markets to sake breweries, you'll join a local leader on a food-focused adventure that has all the best Japanese ingredients. The cuisine of Japan includes a lot of meat and seafood. For vegetarians and vegans we recommend reviewing the itinerary and inclusions to ensure that you will be able to fully participate and enjoy this trip. We also have many other trips to Japan which can accommodate a range of dietary requirements. Japan is best explored on foot and by public transport. You'll need to be fit enough to spend most of each day on your feet and able to handle your luggage as you navigate busy train stations. We recommend comfortable shoes and packing light. During the monastery stay in Koya-san, you'll get to experience traditional Japanese accommodation. It's a great cultural experience, but not everyone finds futon mattresses on tatami mat floors, tiny bathrooms and proximity to other guests as comfortable as more western-style hotels and beds. Read more in the 'Accommodation' section of the Essential Trip Information. Double rooms in Japanese hotels can be smaller than you may be used to (e.g. 20 sqm). Every effort will be made to accommodate double room requests. However, during busy periods, there may be occasions when we are unable to offer a double room, so a twin room will be provided.						
旅のハイライト	—						
旅行期間	11 日間		1 人あたりの価格				
旅程 (詳細の記載あり)	Day 1: Tokyo Day 2: Tokyo Day 3: Kanazawa Day 4: Kanazawa Day 5: Kyoto Day 6: Kyoto Day 7: Kyoto Day 8: Koya-san Day 9: Osaka Day 10: Osaka Day 11: Osaka						
記載内容							
対応言語	英語	ガイド対応	●	食事	●	輸送	●
宿泊施設	●	フライト	●	オプション	●	保険	●
行き方	—	天気と気候	—	持続性	●		
その他	旅程の補足 等						

② Onlyluxe Travel による発信状況

上記のサイトで掲載されている日本のコンテンツについて、以下の項目で整理を行った。

コンテンツ名	LUXURY NAKASENDO WALK (INC. USUI -TOGE PASS) & KARUIZAWA RETREAT 5D4N, PARTIALLY GUIDED		カテゴリー	アクティビティ			
概要	Be spirited away to Japan's Edo period on this captivating 5-day partially-guided adventure along the historic Nakasendo Trail, once alive with merchants, samurai, and travelers. Your trek culminates at the iconic Usui-toge Pass, followed by blissful relaxation at the serene Hoshinoya Karuizawa retreat. Meander through misty forests, marvel at dramatic mountain vistas, linger in timeless tea houses, and soak in rejuvenating onsens-each step an enchanting blend of history, culture, and nature. Your adventure begins in Kyoto, followed by your journey to Kiso Valley and eventually to Tsumago. Travel to Nojiri and navigate a trail to the historic Nagiso before transferring to and exploring Kiso-Fukushima. Explore the ancient Torii Pass and visit the post-town of Narai and the stunning Karuizawa. Navigate dense forests, watch out for wild Japanese macaques (snow monkeys), tackle the Usui Pass, and savour regional specialties, including the well-known Kiso Beef and hand-kneaded soba (noodles). Visit a therapeutic hot spring and indulge your taste buds with delicious French cuisine. From Karuizawa Station, board a train to Tokyo, where your trip ends. At your carefully selected accommodations, unwind in serene hot springs, outdoor baths framed by forest views, and tranquil lounges that offer a peaceful retreat amid the region's natural beauty. Highlights include Hoshinoya Karuizawa, where you'll savour delectable dinners and enjoy the renowned Hoshino Onsen just minutes away. This package includes 4 nights of accommodations in luxury and boutique hotels on a twin-share basis. A trip perfectly planned with engaging tour activities to discover the region at a leisurely pace with partially guided tours Ichi-go Ichi-e-one encounter, one chance. Own every moment of the journey like it was a story made for you, from the breathtaking scenery to the vibrant people, the delicious food, and the immersive 5-day walking experience. Dates or itinerary don't fit? We are specialising in bespoke "tailor-made* luxury or private journeys. Please contact us for a "tailor-made" itinerary for your perfect adventure. This tour is eligible to earn ONLYLUXE reward points.						
旅のハイライト	Encounter unique and diverse flora and fauna Relish awe inspiring vistas of the majestic Kiso River Enjoy relaxing baths in the thermal waters of therapeutic hot springs Explore the breathtaking Karuizawa, the perfect destination for nature lovers Taste various delightful regional specialties, including gohei mochi and kiso beef Reside in comfortable and elegant accommodations with facilities to improve your stay Tour the famed post town of Kiso-Fukushima, visiting spectacular sights like the captivating Kozenji Temple Visit Tsumago, a charming Edo-period town designated as a Nationally Designated Architectural Preservation Site						
旅行期間	5 日間	1 人あたりの価格	記載あり				
旅程 (詳細の記載あり)	○ DAY 1 ENJOY A SCENIC HIKE FROM MAGOME TO TSUMAGO ○ DAY 2 EXPLORE THE WONDERS OF KISO VALLEY ○ DAY 3 TRAVERSE THE TORII PASS AND THE TOWNS OF NARAI & RETREAT IN KARUIZAWA ○ DAY 4 CONQUER THE USUI PASS ON A PRIVATE GUIDED WALK ○ DAY 5 YOUR ADVENTURE COMES TO AN END - SAY YOUR GOODBYES						
記載内容							
対応言語	－	ガイド対応	－	食事	●	輸送	●
宿泊施設	●	フライト	－	オプション	●	保険	●
行き方	●	天気と気候	●	持続性	－		
その他	・荷物の預かり、郵送の仕方 ・キャンセル対応 等						

③ 海外サイトにおけるコンテンツ発信の特徴

海外の主要観光サイトでは、アクティビティの単なる紹介に留まらず、「その土地ならではの体験」や「ガイドや地域との交流」、「地域に根ざした文化や自然との関わり」等といったストーリーや旅のハイライトがわかりやすく発信されているのが特徴的である。

また、サステナブルツーリズムの観点からは、体験を通じて地域資源の保全に貢献する要素や、地元事業者との連携、地域経済への還元などの仕組みが明確に示されており、これらが旅行者の共感と呼び、選ばれる理由となっている。

加えて、海外サイトに掲載されている日本のコンテンツやツアーの多くは 5 日間以上の行程で組まれており、単一のエリアにとどまらず、複数の地域をつなぐ広域的な構成が主流である。

(7) 総括

各コンテンツに関しては、アクティビティ単体に関して説明はあるものの、アクティビティを深堀できるようなストーリーや取り組む各団体・事業者の思い・考え、ガイドイング、サステナビリティへの寄与(持続性)等についての視点での記載(説明)がほとんど見られない。一方で、海外サイトにおいては、ストーリーや旅のハイライト、サステナビリティ等が明記されておることから、それらを加えることで、より効果的にコンテンツ等が発信でき、波及が見込めると考えられる。

また、県内・県外問わず、圏域を超えた展開等についての記載も見られない。海外サイトに掲載されているコンテンツやツアーは 5 日間以上の行程でプランを組まれているものが多く、同じエリアに留まるものも少ないことから、例えば圏域を超えたアクティビティやストーリーに応じた「つながり」を示すような工夫も必要と考えられる。これらが実現できることで、様々なエリアへのアプローチがよりしやすくなると考えられる。

以上を踏まえると、各コンテンツに関して、ストーリー等を明確化することで、より発信力のあるアクティビティやコンテンツを生み出すことができると考えられる。

アクティビティやコンテンツ、各種団体を集約するような圏域を超えたポータルサイトを構築することで、インバウンド等の旅行者をはじめ、バイヤー等にも各種情報等をつなげやすくでき、より良いコンテンツを見つけやすくすることで効果的な発信が行えると考えられる。

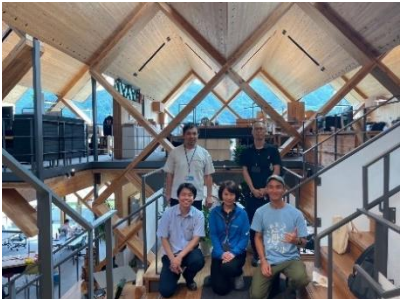
2-2. 事業者・プレイヤー、専門家へのヒアリング及び現地視察

(1) 各県現地視察・意見交換

プラットフォームに関わっていただく事業者・プレイヤーを発掘するために、各県の現地視察と中心となりうる事業者・プレイヤーとの意見交換を実施した。また、現状の情報発信に対する課題についても把握した。

○実施目的

- ☆ コンテンツの情報発信に関する課題について把握する
- ☆ 各県の中心となる事業者・プレイヤー現地視察・意見交換会を通してパートナーシップを築きながら、プラットフォームの基礎となるネットワークの構築を図る
- ☆ 各地域のサステナブルな観光とアドベンチャーツーリズムの状況を把握する

○実施日時 令和 6 年 9 月 18 日（水）～ 9 月 19 日（木） ○実施場所 真庭市、鏡野町、瀬戸内市、倉敷市	○実施内容 ・一般社団法人真庭観光局との意見交換、ツアー先視察 ・一般社団法人鏡野観光局との意見交換、現場視察 ・一般社団法人瀬戸内市観光協会、一般社団法人備前市観光協会との意見交換 ・よしゐ屋 BASE との意見交換、現場視察
○真庭観光局との意見交換 ◇ 2018 年に岡山県初の DMO 化、令和 2 年に観光地域づくり法人として認定（県内唯一）。観光局の体制・自走する仕組みが整っており、外部人材からなる観光地域づくりマネージャーもいる。 ◇ 観光局を立ち上げ、<u>プログラム造成は進めているが、売れるところまで至っていない</u>。<u>滞在型の商品が乏しい</u>。<u>言語対応も課題</u>。 ◇ <u>広域観光の相談窓口</u>がほしい。<u>他県の AT の情報</u>があれば、紹介できる。<u>広島に來ている欧米豪の顧客を岡山に送客</u>できるようにしてほしい（滞在型）	
○鏡野観光局との意見交換、現場視察 ◇ 昨年 3 年越しに DMO を設立。山陰と山陽を結ぶ結節点になりたい。現在は、事務局の人材育成に力を入れている。鏡野観光カレッジを通じた地域住民の意識醸成も実施中。 ◇ 同業種（例：体験プログラムの情報・組合がまとまっていない）がどれくらいいるのかという情報が必要。 ◇ お互いに切磋琢磨し学び合えるような情報基盤＝<u>業者同士の連携や情報交換できる場</u>が必要。（競争を意識し、付加価値を高める） ◇ ビジターセンターとして、鏡野だけでなく<u>中国エリアの情報を提供できる</u>ようにしていきたい。	
○瀬戸内市観光協会、備前市観光協会との意見交換 ◇ 今年度は、備前県民局でプラットフォームづくりを進めている。来年度は、県単位で事務局を担う予定。備前市、瀬戸内市、玉野市は海でつながって、動いている。 ◇ 中国地域という広い範囲でツアーをする場合は、添乗員協会等を巻き込んでも良いかもしれない。高校や大学との連携も有効的。 ◇ 情報を民間に広げることは難しいため、<u>各地のキーマンを通じて、情報を流せる状況</u>が必要。	
○よしゐ屋 BASE との意見交換、現場視察 ◇ 倉敷に旅行会社がなかったため、一昨年設立した。400 年前から続く本当の倉敷を巡る DEEP なガイドツアーの実施、サイクリングコンテンツ等を開発中。ログイン倉敷のツアーデスク等担当。 ◇ 倉敷で<u>ガイドをどうしていくかは課題</u>。「またこの人に会いたい」と思ってもらえる<u>人材（ガイド）を育てたい</u>。<u>通訳は足りない</u>。 ◇ ガイド人材は現在育成中。指導者をまずは育成している。 ◇ <u>オフシーズンに別エリアのオンシーズンへガイド（シーズンルガイド人材）を交換する</u>という仕組みもあると良い。	

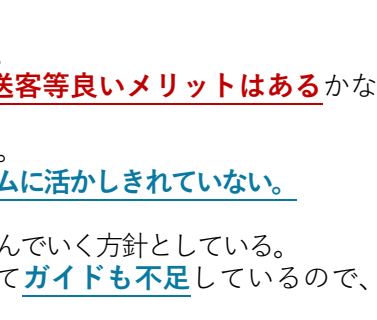
② 鳥取県 視察概要

○実施日時 令和6年9月25日(水)～9月27日(金) ○実施場所 大山町、三朝町、鳥取市	○実施内容 ・大山町甲川シャワークライミング視察及び意見交換 ・三朝町三徳山登山（ガイド付）視察 ・三朝温泉観光協会との意見交換 ・鳥取砂丘ビジターセンターとの意見交換及びガイドツアー視察 ・鳥取県国際観光課との意見交換
○大山町甲川シャワークライミング視察及び意見交換 ◇ 大山の自然環境や大山地域に受け継がれる「大山さんのおかげ」の背景等のガイドしながらシャワークライミングを行う。 ◇ Bisui Daisen とのつながりができてストーリー構築を行った。 ◇ 鳥取県内との <u>DMO とのつながりは現状薄い</u>が、<u>広域的な関係性は重要</u>。	
○三朝町三徳山登山（ガイド付）視察 ◇ 三徳山の自然や歴史・文化的背景、建築（11 つのお堂）についてガイドしながら登山を行う。 ◇ 三徳山の断崖絶壁での参拝により「六根（眼、耳、鼻、舌、身、意）を清める（六根清浄）」を体験。 ◇ <u>ガイドが数名しかいない</u>。安全管理までできるガイドが必要。	
○三朝温泉観光協会との意見交換 ◇ 三徳山はアドベンチャーツーリズムに向いておりインパクトのあるコンテンツ。欧米人もよく関心を持つ。 ◇ ガイドは三徳山三佛寺が認めた人しかガイドができないため、ガイドの質は担保。一方で、<u>ガイド人材不足（外国人対応含め）</u>。 ◇ 「三徳山での修行前後に心と体を癒す三朝温泉」としてのストーリー。 ◇ <u>プラットフォームはしぼりがなく参画しやすい形態が良い</u>。	
○鳥取砂丘ビジターセンターとの意見交換及びガイドツアー視察 ◇ 鳥取砂丘のアクティビティは 7,8 年前から増えてきている。 ◇ <u>外国人は増えているが受入体制・二次交通に課題</u>。 ◇ <u>DMO がインバウンド受入を進めているが、現場との連携が課題</u>。 ◇ <u>類似の取組をしている団体や同じ課題を抱えている団体との情報交換</u>がしたい。	
○鳥取県国際観光課との意見交換 ◇ 観光庁の高付加価値事業で地域コーディネーターとガイド育成を行いながら受入体制構築を図っている（DMO がメインの参加者）。 ◇ 鳥取県としての AT のメインコンテンツは大山・三徳山・ジオパークになる。 ◇ <u>鳥根県とのコンテンツとどう繋いでいくか（横のつながり）が課題</u>。	

③ 山口県 視察概要

○実施日時 令和6年10月7日（月）～10月8日（火） ○実施場所 下関市、長門市、美祢市	○実施内容 ・下関市響灘 SUP 視察及び意見交換 ・下関市角島アクティビティ・渚の交番事業者との意見交換 ・俵山温泉のまちづくり事業者との意見交換 ・長門市観光コンベンション協会との意見交換 ・美祢市秋芳洞ケイビング視察及び意見交換
○下関市響灘 SUP 視察及び意見交換 ◇ 響灘をフィールドに SUP で国指定文化財大吼谷蝙蝠洞を目指すアクティビティを実施。なお、洞窟へは現状 SUP でしかいけない。 ◇ <u>インストラクター・ガイドが不足</u>。インストラクター同士の連携もしたい。 ◇ <u>インバウンドは少ない</u>。 ◇ <u>川棚温泉とは歴史的・文化的ストーリーもあるため連携していきたい</u>。	
○下関市角島アクティビティ・渚の交番事業者との意見交換 ◇ ラフティングやクリアカヤックで無人島を目指すアクティビティや箱メガネで水中を観察するようなアクティビティ等を実施 ◇ 渚の交番を活用して、ライフセーバーと観光客との交流を実施。 ◇ 体験格差解消事業としてこども達への体験機会を提供。 ◇ 企業のチームビルディングにつながるアクティビティ研修を実施。 ◇ <u>機材の整備ができる人材・事業者がない</u>。 ◇ 宿泊事業をやりだして経営が軌道に乗ってきたが、<u>体験だけの企画は難しい</u>。	
○俵山温泉のまちづくり事業者との意見交換 ◇ コンテンツとしては、宿場町、湯治文化、山のアクティビティ（検討中）、ジビエ、サイクリング。 ◇ 瀬戸内 DMO 等とまちまるごとホテルの事業に取り組んでいる。 ◇ <u>プラットフォームには期待しており、連携（宿泊とアクティビティ等）をしていきたい</u>。	○長門市観光コンベンション協会との意見交換 ◇ 季節ごとに体験コンテンツを造成し販売。ただし、<u>コンテンツとしては単発</u>である。また、単価が低いため<u>単価の最適化が課題</u>。 ◇ インバウンドについては中長期的に考えていきたい、せとうち DMO のインバウンド戦略に乗っかっていきたい。 ◇ 中国地方の<u>情報の一元化・一体的なプロモーションは魅力的</u>。
○美祢市秋芳洞ケイビング視察及び意見交換 ◇ 秋芳洞未公開エリアでのケイビングを実施。洞窟や大地の形成の過程や洞穴生物等のガイドも合わせて行う。 ◇ 山口県の事業に採択されアクティビティ拠点(自転車レンタル・更衣室・シャワー・グッズ販売)を整備することが決定。 ◇ ジオガイド×ケイビングガイドの連携で AT としての質を高めていきたい。一方で、<u>ケイビングに対応できるジオガイドは少ないため、ガイド人材の確保</u>は課題。 ◇ 秋吉台のマウンテンバイクのアクティビティも造成しており、大正洞の飲食事業者がガイドをしている。 ◇ <u>DMO の人材不足も課題</u>。 ◇ <u>広域連携や事業者間の連携は密にやっていきたい</u>。	 

④ 島根県 視察概要

○実施日時 令和6年11月5日(火)～11月7日(木) ○実施場所 津和野町、益田市、大田市、松江市	○実施内容 ・ 津和野町 Yu-na 推進協議会サイクリング視察及び意見交換 ・ 一般社団法人益田市観光協会意見交換 ・ 大田市さんべ開発公社三瓶山サイクリング視察及び意見交換 ・ 大田市石見銀山ガイドツアー視察 ・ 一般社団法人大田市観光協会意見交換 ・ 一般社団法人 Expe おせわさん視察及び意見交換 ・ 公益社団法人島根県観光連盟意見交換
○津和野町 Yu-na 推進協議会サイクリング視察及び意見交換 ◇ 津和野町は<u>販売に課題がある</u>ため、その課題を解決するためにも各地と連携したい。 ◇ <u>中国地方は広域なので、各地域にキーマン・パートナーとなる人がいると良い。</u> ◇ 津和野町は山口県と連携することも多く、さらに<u>山口県との連携を強めていけたらよい。</u> ◇ インバウンドはフランスが追い風である。フランス語・イギリス語・英語対応できるガイド人材はいる。	
○一般社団法人益田市観光協会意見交換 ◇ アクティビティのコンテンツとしては高津川のカヤック、美都のバギーが主にある。また、中世のおもてなしの文化がある。 ◇ <u>多言語整備はできておらず、翻訳機に頼っている</u>状況。 ◇ 海外からの問い合わせは少ないが、インバウンドに今年から力を入れて取り組んでいる（柴犬・自然・風景）。 ◇ <u>広島との送客はできていないが、今後は連携していきたい。</u> ◇ <u>松江・出雲方面の動線は少ない。</u>	
○大田市さんべ開発公社三瓶山サイクリング視察及び意見交換 ◇ 三瓶エリアでは、サイクリングツアーやわさび田ツアー、天空の朝ごはん等のコンテンツを実施。 ◇ 大田市は大森・三瓶・温泉津の3つのエリアが主となり、3つのエリア内での情報交換や連携を最近し始めた。 ◇ <u>他市との送客はあまりできていないので、広域的な事業者の交流の場は欲しい。</u>また、インバウンドも増やしていきたい。 ◇ <u>プレイヤー不足とプレイヤーの人材育成は課題。</u> ◇ 三瓶エリアの<u>宿は2つのみなので、宿泊施設の課題</u>がある。	
○大田市石見銀山ガイドツアー視察及び意見交換 ◇ 大森地区のまち歩きツアーと間歩のツアーを実施。 ◇ <u>ガイドの会は高齢化が進みほぼ高齢者</u>である。また、70～80名程度のガイドがいるが、<u>実働できているのは半分。</u> ◇ インバウンド対応できるガイドはいる。 ◇ お客様に喜んでもらうことが一番のため単価は安価に設定している。	
○一般社団法人大田市観光協会意見交換 ◇ 地域 DMO になったが、動きとしてはまだまだ進められていない。 ◇ 山陽側との連携はこれまでなかった。<u>山陽側との連携があれば、送客等良いメリットはある</u>かなと考えている。ただ、<u>二次交通が山陰側は課題</u>である。 ◇ 高付加価値のツアーも作ったことがあるが、販売数は0であった。 ◇ <u>地域の素材としては豊かではあるが、なかなかアドベンチャーツーリズムに活かされていない。</u> ◇ <u>島根県内の事業者等の交流はほぼない状況。</u> ◇ 大田市新観光計画では、大森・温泉津・三瓶の3地区を重点的に取り組んでいく方針としている。 ◇ <u>広島からの流れで大田にくるようなツアーがあるとよい。</u>合わせて<u>ガイドも不足</u>しているので、<u>広島から島根を対応できるスルーガイドもいるとよい。</u>	

○一般社団法人 Expe おせわさん視察及び意見交換

- ✧ 地域の良いもの・価値があるものを見つめ直して、高付加価値化を行う取り組みをしている。
- ✧ 地域の売りを表現するにはアドベンチャーツーリズムはよい。
- ✧ 小泉八雲、民芸、たたら、神話等の歴史文化体験を中心にモニターツアーにいくつか取り組んでいる。
- ✧ 地域の素材はあるがコンテンツにするためのガイドがないのが現状。
- ✧ 山陰の観光ビジネス企業体を来年 DMC 化していく予定。
- ✧ 中国エリアを周遊できるような仕掛け・ツアーは重要。
- ✧ どのような人にどのくらいの価格感で売り出せば良いのか等の適正な金額設定は各地の事業者と一緒に考えたい。(質感をジャッジした金額設計・ターゲット層にあった価格帯)
- ✧ 中国地方でいくつかのテーマ、ストーリーを作って質感の高いものを提供できたらよい。



○公益社団法人島根県観光連盟意見交換

- ✧ 県全体をみるとほぼインバウンド対応できていないのが現状である。
- ✧ 隠岐の島は山と海のアクティビティが充実している。
- ✧ 島根県は、素材は豊富にあるため、素材を商品化してどう消費者につなげていくか（発信・販売）が課題。
- ✧ 2024 年問題でバスの運転手不足もあり、バスの本数が減っているため、これを契機に宿泊者を増やせていけると良い。
- ✧ 広域の動線としては、広島からが多いが、関東・関西も多く感じる。

⑤ 各県の現地視察・意見交換から見える課題

各県の現地視察や意見交換で得られた課題を分類すると大きく「ネットワーク」「情報」「人材体制・販売体制づくり」の課題があると考えられる。これらの課題を踏まえたプラットフォームの検討が必要となる。

ネットワークに関すること	情報に関すること	人材育成・販売体制づくり
◇ 各県を跨いだ事業者・ガイド等の広域連携 ◇ 同地域内での連携 ◇ 定期的に集まることのできる場が欲しい ◇ 参画しやすい環境づくり ◇ キーマンを通じた情報共有・情報発信できる仕組みの検討 ※団体ごとの取組や課題の共有、互いに切磋琢磨できる関係性構築 ※既に県民局単位やコンテンツ単位で連携しているパターンはある	◇ 中国地方の資源・コンテンツ・アクティビティ情報の集約 ◇ 人材（ステークホルダー、ガイド等）の整理・集約 ※上記をマッピング化し、見える化 ◇ 情報の一元化・一体的なプロモーション	◇ 宿泊とアクティビティとの連携 ◇ 海外バイヤーとのコネクションへの期待 ◇ DMO・DMC 機能を持ち海外旅行会社へのプロモート ◇ ターゲットに向けて稼げる商品造成やそれに向けた伴走支援 ◇ ガイド等の育成支援 ◇ オフシーズンに別エリアのオンシーズンへガイド（シーズナルガイド人材）を交換するという仕組の検討
[共通事項] ◇ 事務局機能や受入体制（オペレーション機能）の強化 ◇ 総合相談窓口が必要		

3. インバウンド受け入れや ST・AT を推進できる組織・人材育成の検討

3-1. 講演会の実施

① 開催概要

○開催日時

令和 6 年 9 月 17 日（火） 14:00～17:00

○開催場所

TKP ガーデンシティ PREMIUM 広島駅前

○実施目的

- ☆ サステナブルな観光やアドベンチャーツーリズムの意義や効果性についての考え方を広める
- ☆ 中国 5 県の事業者・プレイヤー同士がつながる

○講師

Tricolage 株式会社 ベンジャミン ウォン 氏 吉田 史子 氏
日本アドベンチャーツーリズム協議会 山下 真輝 氏
Hiroshima Adventure Travel 佐藤 亮太 氏

○プログラム

1. サステナブルな観光に取り組む意義と効果
講師：Tricolage 株式会社 ベンジャミン ウォン 氏 吉田 史子 氏
2. アドベンチャーツーリズムの世界の潮流と中国地方の可能性
講師：日本アドベンチャーツーリズム協議会 山下 真輝 氏
3. 中国地方のサステナブルな観光とアドベンチャーツーリズムの現状
講師：Hiroshima Adventure Travel 佐藤 亮太 氏
4. トークセッション
・サステナブルな観光とアドベンチャーツーリズムを通じた地域振興
・プラットフォームへの期待と展開
5. 交流会
事業者・団体の交流（名刺交換・情報交換）を実施



トークセッション記録

■ガイド人材に関する課題について

- ◇ 人材不足が最大の課題。ジオガイド等を活かした観光プログラムづくりや、市町をまたぐ連携が必要。
- ◇ ガイドの育成は、外部人材の活用と内部育成、両面での戦略が求められる。
- ◇ プロガイドとしての事業性も重要。ガイドを「職業」として成立させるために、報酬水準や経営視点の導入、経営者育成が必要。
- ◇ ガイドは観光満足度に直結する。安全性や対応力を持つプロ人材が少ない現状が課題。
- ◇ ガイドを「稼げる・憧れの仕事」としていくことが必要。

■ローカルガイドの意義と地域振興との関係について

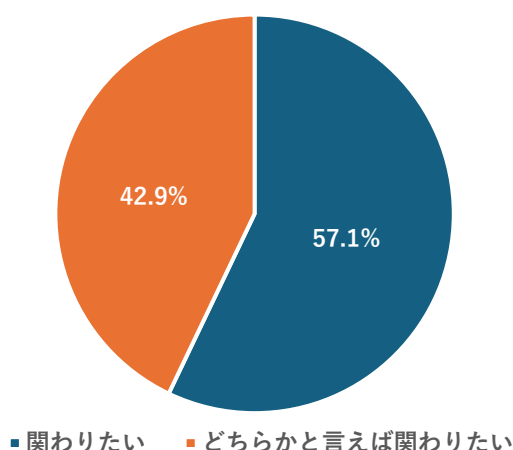
- ◇ ローカルガイドは、地域の文化やストーリーを伝える存在。単なる知識ではなく、自身の体験を交えたガイドがさらなる価値を生む。
- ◇ “住む”ことの重要性。ローカルだからこそ語れる物語がある。
- ◇ 地域愛がガイディングの質を高める。友達のような接し方が好まれる。
- ◇ 地域活動は観光との親和性が高い。

■プラットフォームへの期待について

- ◇ DMC 的な役割が求められる。売上につながる仕組み、学びの場の提供が必要。
- ◇ 地域を束ねる窓口としての機能。旅行会社がプラットフォームに相談・連携できるような機能が必要。
- ◇ 地域や事業者の“価値観”の可視化が必要であり、経済性重視しているのか、文化をつなぐことを重視しているのかなど、プラットフォームで方向性を共有できるとよい。
- ◇ 中国地方のブランド発信。地域のキーワードや価値を明確に見せていく必要がある。
- ◇ 民間だけでは限界があるため、行政のネットワークや受け入れ環境整備も不可欠。
- ◇ まずは、人材育成を軸としたネットワーキングから始めることが良い。

○講演会後のアンケート

問 プラットフォームへの参画意向



問 プラットフォームへの参画意向の理由

- ◇ インバウンドへ販売するためには関係各所協力し基盤を整えるべきと感じた
- ◇ 「中国地方」を一つのエリアとしてプラットフォームを作る意味がまだあまりよくわかっていません。が、倉敷もアドベンチャーツーリズムの体験をどんどん作っていきべきだと思っているため。
- ◇ 水のアクティビティの事業者で繋がっていて、山陰、山陽ともに地域ごとの魅力を伝えられる

ようになりたいと思って、活動を始めている。将来的に目指していることが、一致している。繋がりを持って活動できることにワクワクする。

- ◇ 集客を行うには、個の力では難しい。DMOやDMC機能を有し、海外の旅行会社へプロモートする必要がある。海外旅行会社や海外顧客の方々に対して、コンテンツ単位での提供はもちろんながら、プログラムとして提供できる、コンテンツの保有と、一貫した受け入れ体制(オペレーション)の整備が必要不可欠であるから。
- ◇ 広域連携 DMO として関心がある
- ◇ 中国地方としてのつながりが現状ないため。
- ◇ 関わっていきたいと思っているが、現状どこまでの事業者と関わっていけるかが課題であるため、今後検討していく必要がある。
- ◇ かねてより広島と島根を繋ぐ観光動線を構築したいと考えていたため
- ◇ AT ガイドをやっていきたいと考えているから（実際に経験もある）
- ◇ 自治体や観光事業者等との連携による観光推進が期待できるため。

問 プラットフォームへの期待

- ◇ コンテンツの出口戦略が肝
- ◇ アドベンチャーツーリズムをもっとわかりやすく定義する必要があるかと思います。
- ◇ 今後のプラットフォームの具体化に期待しています。
- ◇ 参画する行政や事業者のマッピングなどが作成されると、よりプラットフォームの構成、発展が加速しやすいと思います。見える化できるとより良いと感じています。
- ◇ 定期的な情報発信、情報交換の場の提供
- ◇ それぞれの地域の事業者の活動状況をタイムリーに共有できること、定期的な交流の機会を持てる事。
- ◇ 平和公園や宮島の観光だけではない、自然あふれる広島を積極的に発信していただきたいです。
- ◇ ニーズ情報の登録やマッチング機能
- ◇ お客様が複数のアドベンチャーツアーの中から選択できるようなプラットフォーム
- ◇ ツアー提供会社が募集している通訳ガイドの条件等をまとめて掲載頂ければ、興味を持つ通訳ガイドが増えるのではないのでしょうか？

② 総括

講演会を通して、持続可能な観光やアドベンチャーツーリズムをテーマに、今後の観光のあり方について考える機会が設けられ、最新動向や事例が紹介され、参加者の理解を深める機会となった。

トークセッションでは、ガイド人材の不足や育成の必要性、ローカルガイドの果たす役割や地域との結びつき、観光と地域活動の親和性について共有された。あわせて、今後の観光地域づくりには、プラットフォームによる共通のビジョンの共有、行政等との連携が必要であることが共有された。

また、各県から観光事業者や関係団体が集まり、地域を越えた交流と情報交換が行われたことで、今後の広域連携に向けたきっかけづくりにもつながった。参加者からは、今後のプラットフォームに対して、人材ネットワークの構築や広域的な連携、プロモーション機能などへの期待が寄せられた。

3-2. ガイド研修会

① 開催概要

○開催日時

令和6年10月17日（木）14:00～17:00

○開催場所

Port.cloud（ポクラ）

○実施目的

- ☆ ST・ATの品質を向上させるためのガイド能力・インバウンド対応能力の育成を図ること
- ☆ ST・ATにおける商品造成・高付加価値化を図るための手段（ストーリー形成）を学ぶこと
- ☆ ガイド事業者同士の交流を図り事業者ネットワークの構築を図ること

○講師

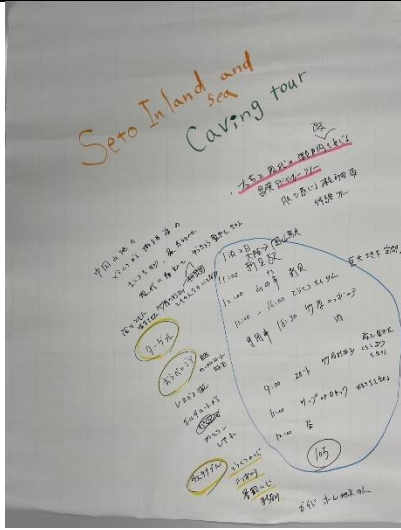
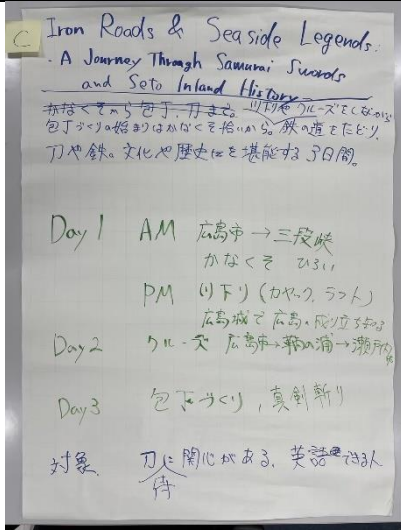
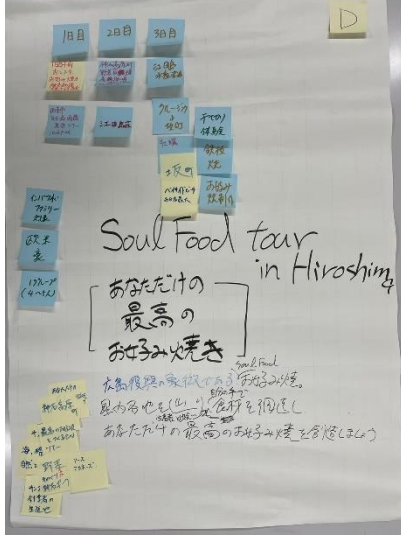
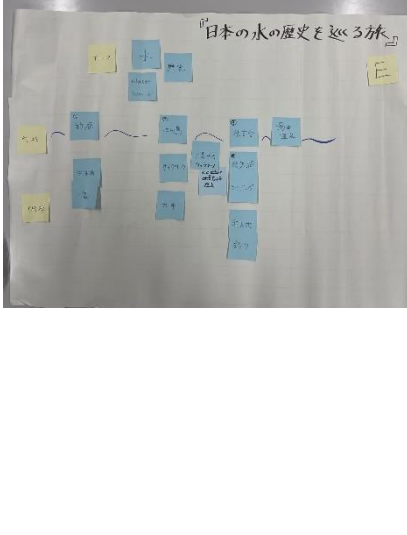
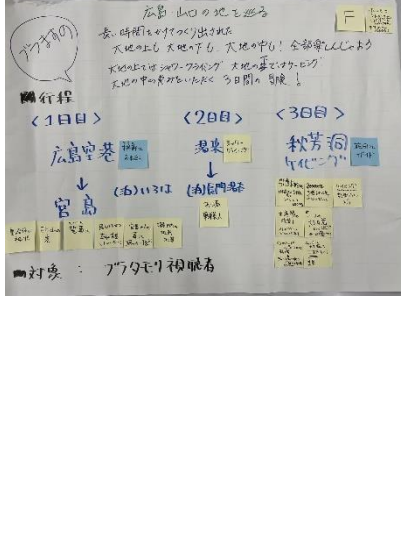
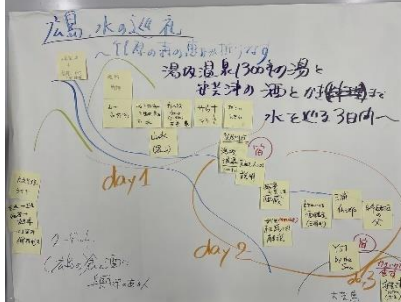
株式会社インアウトバウンド東北 代表取締役 西谷 雷佐氏

○プログラム

1. 開会
2. 本事業とガイド勉強会の主旨説明
3. 勉強会
 - ATガイドの価値と在り方
 - インバウンドガイド対応
 - ATにおける商品造成・高付加価値化
 - 広域連携・広域周遊
 - 組織づくり（プラットフォーム）
 - 質問
- 休憩 —
4. ワークショップ
 - AT商品造成ワークショップ（周遊観光をテーマに、タイトル・内容・ターゲット・ストーリーを検討）
 - 発表
5. 閉会

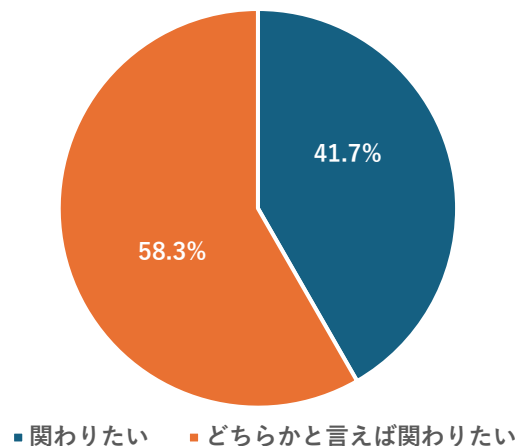


○ワークショップの結果

A 班 	B 班 	C 班 
D 班 	E 班 	F 班 
G 班 		

○ガイド勉強会後のアンケート

問 プラットフォームへの参画意向



問 勉強会パートでの気になった言葉やキーワード

- ◇ 言語化することの重要性。
- ◇ コミュニケーション力とは何かということ。ガイドとして言うべきことは言う。
- ◇ ご当地観光の定番であっても軸とするストーリーと関係のない要素は詰め込まない
- ◇ アクティビティは文化・地域と繋がっていることが大事
- ◇ ストーリーとテーマで繋ぐ”観光編集力”
- ◇ 一貫したストーリーと詰め込みすぎない工程は出来ているか考えさせられた。
- ◇ ガイドする上で、知識、多言語力は土台として必要であるが、人間力が何よりも大事。伝えたつもりでも伝わってない事も、言語化することの大切さ。ガイドとして当然、気遣いやホスピタリティは大切だけれども、時にはツアーリーダーとして毅然とした態度をとることも必要な時がある。等など大変勉強になりました。
- ◇ ガイドにとって、知識、多言語力はもちろん土台として必要な部分ではあるが、人間力が何よりも大事である。
- ◇ 伝えたつもりでは伝わってない場合も多い、言語化することを大切にしたいと思いました。
- ◇ 人間力
- ◇ 因数分解
- ◇ やらないことを決める
- ◇ ストーリーでメインになる要素を詰め込み過ぎない、ということにとっても共感しました。
- ◇ 地名はいらない、というお言葉、ささりました。何がその場所のツアーの売りなのか、しっかり深掘りして行きたいと思います。
- ◇ ガイドとゲストは対等

問 プラットフォームへの参画意向の理由

- ◇ 実際に関われるかは分かりませんが、知ることにとっても興味があるから。
- ◇ 山陰への広域周遊観光の創出に寄与すると思われるため
- ◇ 以前からサイクリングツアーのガイドをやってみたいと思っていたため。
- ◇ 世界から見ると山口県の名前を知っている方がまずいない地方です。そんな中で中国地方が連携してガイド同士の繋がり（事例の共有やお互いに訪れた旅行者へ中国地方の別の場所の見ど

ころを紹介しあうなど）であったり、地域ごとの取り組みであったりを共有することで、体験型ツアーの内容をブラッシュアップしていきたいと考えているからです。

☆ AT ガイドをしたいため

問 プラットフォームへの期待

☆ 販路の獲得

☆ スルーガイドの確保・調整

② 総括

ガイド勉強会では、講義および参加者同士の対話を通じ、インバウンド対応に必要な言語化力、観光コンテンツにおける「やらないことを決める」視点の必要性など、多くの実践的な学びが得られた。特に、ストーリーとテーマに基づく一貫性あるプログラム構成や、地域・文化と結びついたアクティビティの重要性が共有された。

また、ガイドには知識や語学力だけでなく「人間力」が求められ、ツアーリーダーとしての主体性やホスピタリティも不可欠であることが確認された。参加者間の交流も活発に行われ、今後のネットワーク構築に向けた土台づくりとなる機会となった。

3-3. 先進地フィールドワーク

① 開催概要

○実施目的

- ☆ ST・AT の品質を向上させるためのガイド能力・インバウンド対応能力の育成を図ること
- ☆ ST・AT における商品造成・高付加価値化を図るための手段(ストーリー形成)を学ぶこと
- ☆ ガイド事業者同士の交流を図り事業者ネットワークの構築、プラットフォームにつなげること

○実施日時 令和 6 年 11 月 18 日（月）～11 月 20 日（水） ○実施場所 福島県二本松市岳温泉・安達太良山 ○講師 ・株式会社インアウトバウンド東北 代表取締役 西谷 雷佐氏 ・安達太良自然センター 代表 一瀬 圭介氏 ・合同会社歩く東北研究所 代表 後藤 光正氏	○実施内容 ・ガイド・ストーリー形成・サステナビリティに関する勉強会 ・安達太良山フィールドワーク ・プラットフォーム形成に関する勉強会 ・安全管理に関する勉強会 ・リバーウォークフィールドワーク
○ガイド・ストーリー形成・サステナビリティに関する勉強会 ☆ 地域を担う担い手を探すため、歴史・文化を伝える（土地と肩を並べた）ためのガイド ☆ 客のニーズに応えるガイド（決まった形式のものではないガイド） ☆ 土地を断面的（立体的）に捉えて地勢を理解すること。図や絵で見せることも大切。知識をインプットさせたうえで、体験へ。 ☆ 文章の表現の仕方次第で体験する意義が変わる。 ☆ 旅をつくることができるガイドになることが必要で、ガイドがたくさん集まれる場は重要。 ☆ スクリーンを使った（視覚的に見せる）ブリーフィングは効果的で、その後の咀嚼する時間をつくることも効果的。 ☆ 事前の打ち合わせ等の相手のニーズを観察する。 ☆ サステナビリティは、リーブノートレース（足跡を残さない行動指針）の考え方が参考になる。 ☆ プラスチックを持っていけないのではなく、“捨てないこと”	
○安達太良山フィールドワーク ☆ エマージェンシーポンチョの活用方法、体力を温存する歩き方、体温・体調管理（アウターの活用方法、エネルギー摂取のタイミング）の方法等の技術的なレクチャー ☆ 安達太良山と岳温泉・五葉松・豊かな食とのつながり等ストーリー性を持ったガイド	



○プラットフォーム形成に関する勉強会

- ✧ “どのように”組織を作っていくのかの過程として、合宿をしながら組織のことを考えチームビルディングしていくことが重要。
- ✧ 各地でキャラバン（合宿）を繰り返し、各地に“信頼できる人”を見つけていく過程が重要。
- ✧ 信頼できるパートナー同士で送客・連携。
- ✧ 各地に根付いたカードを複数枚持つことで収益チャンネルを拡大することができる。



○安全管理に関する勉強会

以下に関する内容等をレクチャー

- ✧ 天気の読み方・予測の仕方（天気予報サイトの有効活用）
- ✧ 野外活動における装備
- ✧ テーピングの効果性・活用方法



○リバーウォークフィールドワーク

- ✧ 安達太良山・岳温泉に関連する温泉神社、夏無川を巡るリバーウォーク



② 総括

先進地フィールドワークは、ガイド能力とインバウンド対応能力の育成、商品造成に資するストーリー形成手法の習得、及びガイド事業者間のネットワーク構築を目的として実施し、地域の歴史・文化に根差したガイドの在り方や、視覚的な伝え方、体験とストーリーを結びつける手法について学ぶ機会となった。また、安達太良山での実地研修では、安全管理や自然とのつながりを意識した高付加価値なガイドングの実践に触れた。

さらに、プラットフォーム形成に関する勉強会では、信頼に基づく連携や合宿の必要性、販路の多様化を図る組織づくりの重要性が共有された。参加者間の交流も活発であり、今後の広域連携とプラットフォーム構築に向けた貴重な機会となった。

4. 検討会の実施

4-1. 概要

プラットフォームの方向性等について、専門的な見地から意見をいただき、内容の精度を高めることを目的として、専門家を交えた検討会を3回実施した。

第1回	(主な議題) ○ 中国地方のサステナブルな観光とアドベンチャーツーリズムの現状・課題 ○ 目指したいプラットフォームの姿（仮説） ○ プラットフォーム構築に向けたポイント ○ 中国地方のサステナブルな観光及びアドベンチャーツーリズムのブランディング方向性
第2回	(主な議題) ○ 講演会・現地視察及び意見交換会の報告 ○ プラットフォームで目指すべきこと ○ プラットフォームのステークホルダー（メンバー）想定
第3回	(主な議題) ○ プラットフォームに求められる役割 ○ プラットフォームの組織構造と想定メンバー ○ 今後のロードマップ

4-2. 第1回検討会

■日時・場所

日時: 令和6年8月28日(水) 13:30~15:30

場所: 広島合同庁舎4号館5階会議室(オンライン併用)

■次第

1. 開会

2. 議題

- ・中国地方のサステナブルな観光とアドベンチャーツーリズムの現状・課題
- ・目指したいプラットフォームの姿(仮説)
- ・プラットフォーム構築に向けたポイント
- ・中国地方のサステナブルな観光及びアドベンチャーツーリズムのブランディング方向性

3. その他

- ・今後のスケジュール

4. 閉会

■資料

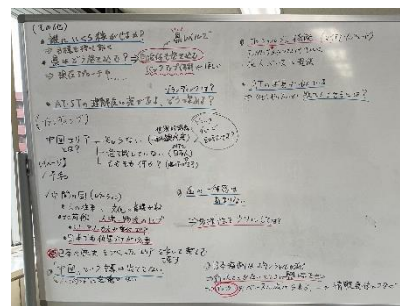
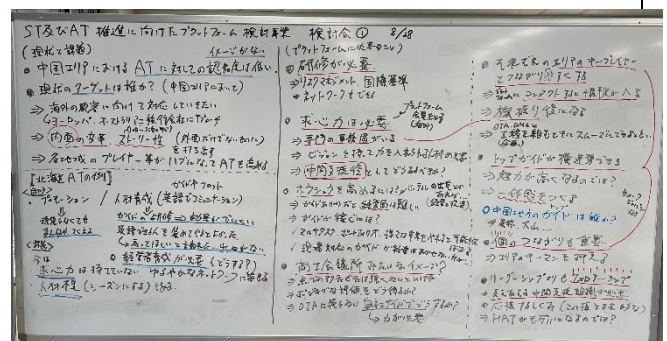
資料1 事業概要

資料2 中国地方のサステナブルな観光とアドベンチャーツーリズムの現状・課題

資料3 プラットフォームの仮設

資料4 中国5県の動向

■会議風景



■参加者

氏名	所属	敬称略 出席
ベンジャミン・ウォン	Tricolage 株式会社	○
吉田 史子	Tricolage 株式会社	○
荒井 一洋	NPO 法人 大雪山自然学校	○ (WEB)
山下 真輝	一般社団法人日本アドベンチャーツーリズム協議会	○
八木 周吾	ランドブレイン株式会社	○
三木 脩平	ランドブレイン株式会社	○
田添 雄大	ランドブレイン株式会社	○
吉原 俊朗	一般社団法人 Hiroshima Adventure Travel	○
佐藤 亮太	一般社団法人 Hiroshima Adventure Travel	○
後藤 峻	一般社団法人 Hiroshima Adventure Travel	○
岡本 泰志	一般社団法人 Hiroshima Adventure Travel	○
川口 康太	一般社団法人 Hiroshima Adventure Travel	○
石飛 聡司	一般社団法人 Hiroshima Adventure Travel	○ (WEB)
三村 理紗	一般社団法人 Hiroshima Adventure Travel	○ (WEB)
柏木 実	中国運輸局 観光部 観光地域振興課	○
重長 誠	中国運輸局 観光部 観光地域振興課	○
中村 雪乃	中国運輸局 観光部 観光地域振興課	○

■ 専門家・参加者からの主な意見

現状と課題	・中国エリアにおける AT に対しての認知度は低く AT のイメージがない。 ・中国のエリアにおいて現状のターゲットは誰か。 ・内面の変革（意識改革）、ストーリーの構築は必要。 ・各地域のプレイヤー等がハブになって AT を高めていけると良い。
北海道 AT の例	≪ 目的 ≫ ・プロモーション ・人材育成（ガイドやフロントが英語でコミュニケーション） ⇒ ガイドの研修は効果が出にくい。英語ができる人を集めて実施すると効果的ではあったが、参加者から雇ってほしいと声もあったが出口がないのが現状。 ≪ 課題 ≫ ・求心力に課題があり、ゆるやかなネットワークに留まっている。 ・シーズンにもよるが、人材不足が課題となるシーズンもある。
プラットフォームに必要なこと	・国際基準でのリスクマネジメント等含む「研修」が必要。研修を通じてネットワークもできる。 ・人材のマネジメントができる求心力が必要。 ・専門の事務局が必要。 ⇒ ビジョンを持って力を入れられる人材が必要である。 ⇒ 中間支援役としてどうあるべきかを考える必要がある。 ・報酬を高めていくことも必要。 ⇒ ホテルの出資等あれば良いが、なかなかない。 ・プラットフォームも経営と投資の考え方をしておくことは必要。 ⇒ ガイドが稼ぐにはどうすべきか。 ・マルチタスク、ポートフォリオ、様々な事業をやれると可能性はある。 ・現場対応のガイドに経営は任せない方が良い。 ・プラットフォームは商工会議所のようなイメージか。 ⇒ 点でのアクティビティは強くなければいけない。 ⇒ OTA に頼らない、自分達でどう情報発信・販売するかが必要となる。 ・それぞれのエリアのキープレイヤーがいるとつながりやすくする。 ⇒ プラットフォームにコンタクトすると情報が入る。 ・プラットフォームが旗振り役になる必要がある。 ・OTA、DMC と企画や工程を組むときにも旗振りとしてスムーズにできると良い。 ・トップガイドが横連携すると一体感が高まり、魅力が高まる。ただし、中国地方のトップガイドの整理は必要。 ・個のつながりも重要であるため、各エリアのキーマンを押さえる。 ・リーダーシップよりもフォロワーシップが大事。 ⇒ 支える中間支援組織が必要 ⇒ 応援される仕組み・関係性が必要。 ⇒ HAT がモデルになるのではないか。
ブランディングの視点	・「中国エリア」と聞いてイメージが湧くか。 ⇒ 平和 ⇒ 中間の国（ロケーション） （人の往来／文化の蓄積がある／北前船／人流・物流のハブ／ヒト・モノ・カネが動くエリア等） ・日本の歴史をつくったエリアを歩いて楽しむ ・中国地方という概念について、インバウンド旅行者は意識しない

	・ 中国地方としての面の一体感はあまりない ・ 多様性を売りにしてはどうか ・ 日本海側はポテンシャルがある ・ インバウンドは行ったことがないところに興味を持つ傾向がある
その他	・ 「誰にいくら稼がせるか」を明確にして目標を定めていくことが経営に必要。 ・ 県レベルで自治体も巻き込むことが必要。バックアップ体制がほしい。 ・ AT・ST の理解度に差がある。どう埋めるかを考えていく必要がある。 ・ デジタルコンシェルジュ。マイアミを拠点とする The Prelude。 ・ アンカリングからつなげていく ・ 旅人ベースでの提供を行う。

4-3. 第 2 回検討会

■日時・場所

日時: 令和 6 年 10 月 18 日(金) 13:30~15:30
場所: 広島合同庁舎4号館5階会議室(オンライン併用)

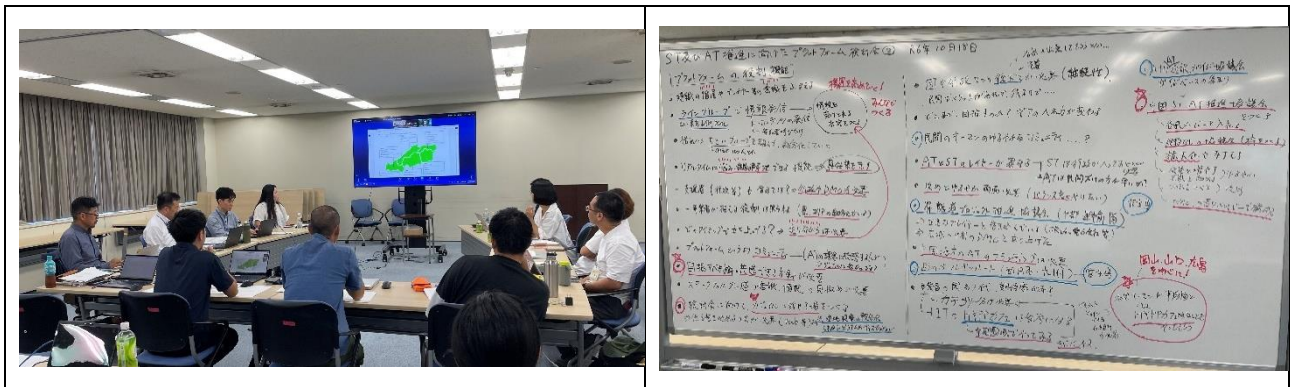
■次第

1. 開会
2. 第 1 回検討会の振り返り
3. 議題
 - ・講演会・現地視察及び意見交換会の報告
 - ・プラットフォームで目指すべきこと
 - ・プラットフォームのステークホルダー(メンバー)想定
4. その他
 - ・今後のスケジュール
5. 閉会

■資料

資料 1 講演会・現地視察及び意見交換会報告資料
資料 2 プラットフォームの目指すべきこと
参考資料 第 1 回検討会の記録

■会議風景



■参加者

氏名	所属	敬称略 出席
ベンジャミン・ウォン	Tricolage 株式会社	○ (WEB)
吉田 史子	Tricolage 株式会社	○
山下 真輝	一般社団法人日本アドベンチャーツーリズム協議会	○
八木 周吾	ランドブレイン株式会社	○
三木 脩平	ランドブレイン株式会社	○
田添 雄大	ランドブレイン株式会社	○
佐藤 亮太	一般社団法人 Hiroshima Adventure Travel	○
後藤 峻	一般社団法人 Hiroshima Adventure Travel	○
岡本 泰志	一般社団法人 Hiroshima Adventure Travel	○
三村 理紗	一般社団法人 Hiroshima Adventure Travel	○
柏木 実	中国運輸局 観光部 観光地域振興課	○
重長 誠	中国運輸局 観光部 観光地域振興課	○
中村 雪乃	中国運輸局 観光部 観光地域振興課	○

■ 専門家・参加者からの主な意見

プラットフォームの役割・機能	・組織の階層やプレイヤー等の意識を踏まえる必要がある。 ・東京山側 DMC では、LINE で情報発信（コンテンツの発信、参加者の呼びかけ等）を行っている。 ⇒情報発信を受け取れる状況をつくることが大切。機運を高める。みんなでつくる意識を高める。 ・リアルタイムに悩みや課題の解決ができる機能があると良い。 ・行政や DMO などの支援者も含めてはどうか。 ・ひとつの事業者が担える役割は限られるため、エリアの細分化は必要。 ・どのタイミングで立ち上げるかは検討が必要。 ・プラットフォームというよりも「コミュニティ」といった考えも良い。 ⇒AT の理念に共感する人がカジュアルに参加できる ・目指すべき方針・共感できる方針が必要。 ・ステークホルダー間の意識、情報の見極めが必要。 ・継続性の観点から、国や県などの後ろ盾も必要。 ・民間のキーマンのゆるやかなコミュニティという考え方もある。 ・AT と ST では階層が異なるのではないか。ST は行政が入っておくことが必要。AT は民間だけの方が効果的か。 ・攻めの姿勢とゆるやかな姿勢の両面で考えてバランスを取ることができると良い。 ・中部運輸局の昇竜道プロジェクト推進協議会、西のゴールデンルート（西日本、九州）等は参考になる。 ⇒広域の中部の DMO を立ち上げている。 ⇒JR や電力会社等、主要なプレイヤーを巻き込んでいる。 ・中国地方の AT のブランディングは必要 ・事業者の関り代、期待感がある ⇒事業者のカテゴリー分けは必要。 ⇒広島県観光連盟の HYPP カフェは参考になる。 ⇒中国地方全体で取り組んでみるのもよい。 ⇒各県キーマンが事務局となって HYPP カフェ的なことをやってもらう。後からジョインできる仕組みが必要。 ・九州 AT 通訳ガイド協議会のようなガイドベースの集まりもある。 ・各県の DMO や主要なメンバーで構成された中国 ST・AT 推進協議会をつくってはどうか。 ⇒まずは、規約なしの協議会のイメージ。 ⇒将来的な拡大化も見据える ⇒徐々に賛同していただける会員を増やす、意識を高める （ゆるやか） ⇒商品をつくる （攻め）
-----------------------	--

4-4. 第3回検討会

■日時・場所

日時： 令和6年12月2日(月) 13:30～15:30
場所： 広島合同庁舎4号館5階会議室(オンライン併用)

■次第

1. 開会
2. 第2回検討会の振り返り・視察等報告
3. 議題
 - ・プラットフォームに求められる役割
 - ・プラットフォームの組織構造と想定メンバー
 - ・今後のロードマップ
4. その他
5. 閉会

■資料

資料1 島根県視察・先進地フィールドワーク報告資料
資料2 プラットフォームに求められる役割・組織構造・ロードマップ
参考資料 第2回検討会の記録

■会議風景



■参加者

敬称略

氏名	所属	出席
ベンジャミン・ウォン	Tricolage 株式会社	○
吉田 史子	Tricolage 株式会社	○ (WEB)
荒井 一洋	NPO 法人 大雪山自然学校	○
山下 真輝	一般社団法人日本アドベンチャーツーリズム協議会	○ (WEB)
八木 周吾	ランドブレイン株式会社	○
田添 雄大	ランドブレイン株式会社	○
吉原 俊朗	一般社団法人 Hiroshima Adventure Travel	○
佐藤 亮太	一般社団法人 Hiroshima Adventure Travel	○
後藤 峻	一般社団法人 Hiroshima Adventure Travel	○
岡本 泰志	一般社団法人 Hiroshima Adventure Travel	○
三村 理紗	一般社団法人 Hiroshima Adventure Travel	○ (WEB)
石飛 聡司	一般社団法人 Hiroshima Adventure Travel	○
今西 光孝	美祢市 商工観光部 観光政策課	○ (WEB)
藤本 亮太	公益社団法人岡山県観光連盟	○ (WEB)
藤岡 雄太	株式会社メディアスコープ 一般社団法人 Expe	○ (WEB)
山崎 利幸	一般社団法人山陰インバウンド機構	○ (WEB)
柏木 実	中国運輸局 観光部 観光地域振興課	○
中村 雪乃	中国運輸局 観光部 観光地域振興課	○

■ 専門家・参加者からの主な意見

プラットフォームをつくるにあたって	・集客は大きな目的のひとつ。広島だけでなく広域的に取り組んでいくなかで、プラットフォームによる集客の可能性をしっかりと導き出したい。 ・ターゲットは欧米豪含め、石見であればアジア圏という話もあるが、今後ターゲットの解像度を高めていく必要がある。 ・中国地方全体でレベルを上げてインバウンド集客に対応することが必要。 ・今のままであれば皆が何をやったら良いかわからない状態で進むのではないかな。 ・事業者等の得意分野の掘り下げが必要。 ・目指す方向性に対して、皆さんとの共通認識として持っておく必要がある。 ・これまでの調査結果から、アドベンチャーツーリズムに関連するコンテンツに取り組む方の話を聞くと、人材育成や事業運営は自分たちだけではどうにもならないという課題がある。 ・ガイドのレベルアップだけでなく、経営力や運営などの全体のマネジメントをサポートできることが、プラットフォームに求められることだと考えられる。 ・最終目的がインバウンドに中国地方に来てもらって満足してもらおうというエリアにしていこうとなれば、4つのステップがあると考えられる。ステップ1は気運を上げる、ステップ2は受入れ体制、ステップ3は高付加価値のツアー造成、ステップ4は営業プロモーションであり、ステップ4までできればプラットフォームでフルコミットできる。 ・プラットフォームで横連携ができるのであれば、「数日間、中国地方を周遊してください」との提案がしやすい。 ・キーポイントは横連携で、1つのテーマ（アドベンチャートラベルで横の連携ができるテーマ）がプラットフォームでできるのであれば、有意義である。包括的な情報があれば使いやすく、効果的で、プラットフォームの目指すところの集客にもつながるのではないかな。
プラットフォームの運営についての課題	・組織体制としては、一般社団法人を動かすにはそれなりのスポンサーが必要。手間がかかるのでボランティア活動では困難である。 ・今回の事業の大きな成果としてプレイヤーが見え、山陰側 DMO と瀬戸内 DMO が連携する動きが起きており、中国 5 県が 1 つのテーマで集まることは画期的なことだと思う。 ・このプラットフォームでは、次のスター商品をどのように作っていくかが重要。 ・人材育成が大切。安全対策や危機管理もしっかり世界レベルのスキルを身に着けたり、ガイディングスキルも、マスターガイドと言われる人たちが中国エリアに何人もいるように育成したりすることが必要。 ・事業については、当面緩やかなネットワークを作りながら、山陰エリアにも注目しながら、この広島や山口、岡山地区も光らせるためのグループを作り、そして旅行会社への訴求ルートを考え、人材育成を進めていく、そのような、段取りで考えると良い。 ・リーダーシップよりフォロワーシップの時代にある中で、そのフォロワーシップを整えるのに、エリアパートナーを設けることで、求心力を作ることができると感じた。
北海道での取組の例	・北海道運輸局で、アドベンチャートラベルを通じて北海道に世界中から人を呼び込もうということから活動が始まった。プロモーションを行うのと人材育成からスタートしたが、プロモーションは日本中どこでもやっているのだから、人材育成が重要ということになった。 ・国際基準のリスクマネジメントの研修会等も実施した。更新研修ではふだん会うことのない各地域のトップガイドと顔を合わせることができるという観点から、プラットフォームでやりたい互いの交流プラス資格制度を更新できることは現場

	として有難いことかと思う。 ・トップクラス、世界レベル、世界水準のリスクマネジメント、ガイドの技術をやるうということが、ビジョンの中に含まれることは良い。 ・世界レベルの水準に関しては、ガイドとして最低限このレベルを満たしてほしいという最低ラインであることを理解してほしい。「満足度を高める」と皆言うが、最低限これをクリアしていれば安全で、ある程度の満足度が得られるガイドでいることが国際基準の考え方だと思う。 ・北海道アドベンチャートラベル協議会は運輸局内に事務所を置き、法人には至っていない。事業運営はできるが、ヒト、モノ、カネを付ける組織経営ができるまでには育たなかったといったところではある。 ・北海道での悩みは、組織経営。結局、事務局（動ける人）がいるかどうかが重要。事務局が兼務にならざるおえない状態にあるからである。この場合、自分の商売をやりながらになるので、コミットメントが問題になる。
夢街道ルネサンス	・夢街道ルネサンスは、中国地方独自の事業で、そこから「風景街道」等の事業に繋がり、全国的に風景街道として選定されている。小さな古い街道沿いの 50 以上の地区が認定され各地域で活動する仕組みがあるので、今までは全くインバウンドが見えていなかったが、インバウンドを活かしたいという地域が少しずつ出てきている。高齢化が進んでいるので、そこに若い力が入りガイドが育成されるなどして、そのような場所を使って活動していく方向はないものか。山と海がつながるストーリー作りに、この「夢街道ルネサンス」事業で進めている歴史街道の話は、結構ストーリーにしやすい、使えるのではないかと感じる。 ・神道をフックとして考えると、大山という山岳信仰のところから、出雲と言う古事記の舞台になった場所があり、さらに宮島という神の島がリンクして一つのテーマで設計ができる。また、歴史の面で見ても、古代から近代までが中国地方で全て表現ができ、自然の面でも瀬戸内海、中国山地、日本海、隠岐というエリアがある。メインコンテンツのマグネットを大事にしながら、それらをフックとして、いかにデザインするためのコンテンツをいかに集めるのかということとプラットフォームがそれらを実際に売ることを考えていくことが大事。 ・広い日本の中で、ストーリー性のあるルートをとるべき理由を明確に打ち出せるかどうかではある。しっかりとしたストーリーを作ったルート作りが必要。そのルートの中でのストーリー性みたいなものをしっかり述べて、歩くべき、訪れるべき明確な理由を明確にしたら良い。一方で、アドベンチャー系のお客様だけではなく、いわゆるラグジュアリートラベルにもしっかり向き合えるようなコースも用意したら良い。
その他	・山陰にはゲートウェイがないため、関東・関西から 2 週間のうち 3、4 日間は山陰に来てもらうという流れが想定できる。そのなかで隣県に案内できればと思っていたので、参加させてもらい有難く感じている。 ・海外の方が見てわかるように、「どこの場所で、どんな体験があって、どんな特徴があるのか」といったことはブランディングになるかもしれないが、5 県でまとめていけたら良いと思う。 ・次のステップになるかもしれないが、ホームページや WEB で一元化して見えるようになれば、我々はこのポジションを担っているということが理解でき、外向きにも全体が見えるようなものがあれば良い。 ・プラットフォームの目指す姿を描き、それに向けてそれぞれの役割を設定していかなければ、これだけ事業者がいる中で、進めても難しいのではないかとしたことを感じて持っている。目指す姿があり、その上で、それぞれの事業者の役割が細分化され可視化できれば関わりやすい。

5. プラットフォームの構築の検討

5-1. 今年度の検討事業で明らかとなった現状やニーズ

現状	AT の推進状況	- 地域によって AT 推進の姿勢や熟度はそれぞれ異なる。 - 個性的な特徴や可能性をひめているものの、中国地方を主語とした場合、現時点では総じて未熟であり、面的な広がりがない。
	広島県	(一社) Hiroshima Adventure Travel を中心に AT の推進、広島県内の広域的なツアー造成に取り組んでいる。
	岡山県	せとうちアドベンチャーツーリズム協議会を中心に岡山県の瀬戸内地域の AT の推進に取り組む。また、真庭観光局・鏡野観光局でも推進に力を入れており、人材育成やプログラム造成に取り組んでいる。
	山口県	山口県はアウトドアツーリズムという独自の考え方のもと、アウトドア旅行を推進。その中で美祢市は、AT として秋芳洞・秋吉台を舞台に AT コンテンツの開発に取り組んでいる。
	島根県	島根県の施策としては AT として売り出しはしていないが、津和野町や三瓶山、隠岐の島には、AT コンテンツが存在する。
	鳥取県	鳥取県の事業として AT を活用したインバウンド誘客に取り組み、大山・三徳山・ジオパークの大地と自然を活かしたコンテンツの磨き上げを行っている。
	広域的取組状況	- 山陽地域、山陰地域において、県内や県を跨ぐ取組も一部みられる。 - 各県や山陽地域、山陰地域を跨いだ共通の歴史的背景や資源があるため、県や地域で括れないストーリーも多く存在する
各事項に対するニーズ	ネットワーク	- 各県を跨いだ事業者・ガイド等の広域連携や同地域内での連携が必要 - 同業者等が定期的に集まることのできる場が欲しい - プラットフォーム等に対しては、参画しやすい環境づくりが必要 - 宿泊とアクティビティとの強化・連携は必要
	情報	- 中国地方の資源・コンテンツ・アクティビティ情報の集約が必要 - 人材（ステークホルダー、ガイド等）の整理・集約が必要 - 情報の一元化・一体的なプロモーションが必要 - キーマンを通じた情報共有・情報発信できる仕組みの検討が必要
	商品・販売	- 海外バイヤーとのコネクションへの期待 - DMO・DMC 機能を持ち海外旅行会社へのプロモートが必要 - ターゲットに向けて稼げる商品造成やそれに向けた伴走支援がほしい
	人材育成	- ガイド等の育成支援は必要 - オフシーズンに別エリアのオンシーズンへガイド（シーズンガイド人材）を交換する仕組みの検討
検討会	第 1 回	- 中国エリアにおける AT に対しての認知度は低い（AT・ST の理解度にも差がある） - ターゲットを明確にすることが必要 - 人材育成（研修）は必要 - 求心力が求められる。専門の事務局（中間支援役、旗振り役）が必要。ビジョンを持って力を入れられる人材が必要／支え合える中間支援組織が必要 - 報酬を高めていく必要があるが、ガイドあがりだと経営面は難しい。 - それぞれのエリアのキープレイヤーとつながりやすくする - プラットフォームにコンタクトすれば、情報が入る仕組みが必要 - トップガイドの横連携や一体感を高めていく必要がある。 - 個々のつながりも重要 - リーダーシップをフォローアップできる機能・体制づくり
	第 2 回	- ステークホルダー間の意識、情報の見極めが必要。組織の階層や意識が異なるため、そこをふまえる必要がある - LINE グループで情報発信している例がある（東京山側 DMC）⇒裾野を広くする方法も検討 - リアルタイムに悩みや課題を解決できる機能が必要 ⇒具体策を示す - 一事業者が担える役割は限られる（県・エリア等の細分化） - どのタイミングで立ち上げるのか検討だが、走りながら、立ち上げ構築していくことが必要 - 気軽に話せるコミュニティ要素も必要。（AT の理念に共感する人がカジュアルに参加できる）⇒カジュアルに話せる場つくる - 総じて、目指すべき方針・共感できる方針が必要。攻めと緩やかな取組の両方が大切。 - 継続性を担保するため、国や行政などの後ろ盾が必要 - AT と ST の考え方のレイヤーが異なる（ST は行政が入っておく必要があるが、AT は民間だけの方が早い） - 中国地方の AT のブランディングは必要 - 事業者の関り代などの期待感もある。HYPP カフェ等も参考にしながら、各県が事務局になって取り組んでみる。
	第 3 回	- 今後ターゲットの解像度を高めていく必要がある。 - 中国地方全体でレベルを上げてインバウンド集客に対応することが必要。 - 事業者等の得意分野の掘り下げが必要。目指す方向性を共通認識として持つておく必要がある。 - ガイドのレベルアップだけでなく、経営力や運営などの全体のマネジメントをサポートできることが、プラットフォームに求められることだと考えられる。 - キーワードは横連携で、1つのテーマ（アドベンチャートラベルで横の連携ができるテーマ）がプラットフォームでできるのであれば、有意義である。包括的な情報があれば使いやすく、効果的で、プラットフォームの目指すところの集客にもつながるのではない。 - このプラットフォームでは、次のスター商品をどのように作っていくかが重要。 - 人材育成が大切。安全対策や危機管理もしっかり世界レベルのスキルを身に着たり、ガイディングスキルも、マスターガイドと言われる人たちが中国エリアに何人もいように育成したりすることが必要。 - リーダーシップよりフォロワーシップの時代にある中で、そのフォロワーシップを整えるのに、エリアパートナーを設けることで、求心力を作ることができると感じた。 - 次のステップになるかもしれないが、ホームページやWEB で一元化して見えるようになれば、我々はこのポジションを担っているということが理解でき、外向きにも全体が見えるようなものがあれば良い。 - 目指す姿があり、その上で、それぞれの事業者の役割が細分化され可視化できれば関わりやすい。

5-2. 現状やニーズを踏まえたプラットフォームに求められる役割

役割① 中国地方全体や各県内の事業者・行政・地域・情報をつなぐ交流の強化

アクティビティ事業者同士の連携やアクティビティ事業者と宿泊事業者の連携、県内ないしは県を跨いだ地域間の連携等のニーズが高く、それぞれがどのような取組・活動をしているのか、どのような工夫をしているのか等を知る機会が求められている。

そのため、定期的な勉強会や情報交換会、SNS を活用したコミュニケーション等の場づくりを通して、中国地方全体や各県内の事業者・行政・地域・情報をつなぐ交流の強化を図っていくことが必要。



役割② 中国地方の ST・AT 情報（人材・コンテンツ）の一元化

中国地方にどんな人がいて、どんな地域資源があって、どんな歴史・文化的背景があって、どんなコンテンツを展開しているのか等といった AT に関わる情報が集約されたものがない現状であり、事業者や旅行会社からのニーズからも中国地方の情報の一元化は求められている。

そのため、中国地方の ST・AT の情報（人材・コンテンツ・ツアー等）を集約した情報のプラットフォームづくりを図っていくことが必要。



資料：北海道アドベンチャーツーリズム協議会 HP

役割③ 事業者・プレイヤーの悩み・課題の解決、人材育成を通じた観光品質の向上

スキルアップやコンテンツの磨き上げのための勉強会や事業者・団体の交流等に対するニーズは高く、そのような場づくりが求められている。

そのため、定期的な勉強会や合同合宿、互いのコンテンツを体験し合う機会等を設け、事業者・プレイヤーの悩み・課題の解決、人材育成を通じた観光品質の向上につなげていくことが必要。



役割④ 稼げる商品・ツアーの造成、プロモーション機能、地域への総合的な伴走支援

インバウンドの市場としては広域的・面的な取り組み（コンテンツ・ツアー等）が求められている。また、県や山陽地域、山陰地域を跨いだ共通の歴史的背景や資源も存在しているためその活用も求められている。

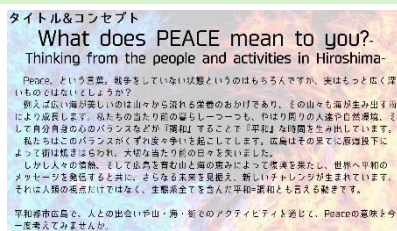
そのため、山陽地域、山陰地域、各県を縦と横のストーリーでつなぐようなインバウンド市場への稼げる商品・ツアーの造成、一体的なプロモーション等の地域への総合的な伴走支援を行っていくことが必要。



役割⑤ 中国地方の ST・AT のブランドをデザイン・発信

上記同様、インバウンドの市場としては広域的・面的な取り組みが必要となること、また、各地域の来訪者を送客し合うためにも、共通のブランディングが効果的となる。

そのため、中国地方としての一体感のあるブランドをデザインし、面としての“中国地方ブランド”を発信し、販売・販路拡



資料：Hiroshima Adventure Travel HP

上記①から⑤の取り組みを加速化するためにも、共通のビジョンとしてのアドベンチャーツーリズムに関する指針を作成することも効果的である。

5-3. プラットフォームの組織構造

各ステークホルダーに求められる役割・果たすべき役割が異なり、効果的・効率的にプラットフォームを推進していくためにも、プラットフォームの構造としては、①行政・観光協会・DMO の層、②事務局的作用を担う積極的な事業者・団体の層、③事業者コミュニティの層の3層構造が望ましいと考えている。プラットフォームに求められる役割を踏まえて、組織構造と役割を以下に示す。

①行政・観光協会・DMO の層

- ◇ 観光を担う人材の確保のための人材育成機会の創出（講演会・勉強会の実施）
- ◇ 地域内外の人材をつなぐためのネットワーク構築の支援（マッチング機会創出・事業者のリスト化）
- ◇ 行政施策と連動した観光地域づくり・まちづくりの推進
- ◇ 各県・各地域のATや事業者・団体をマネジメント

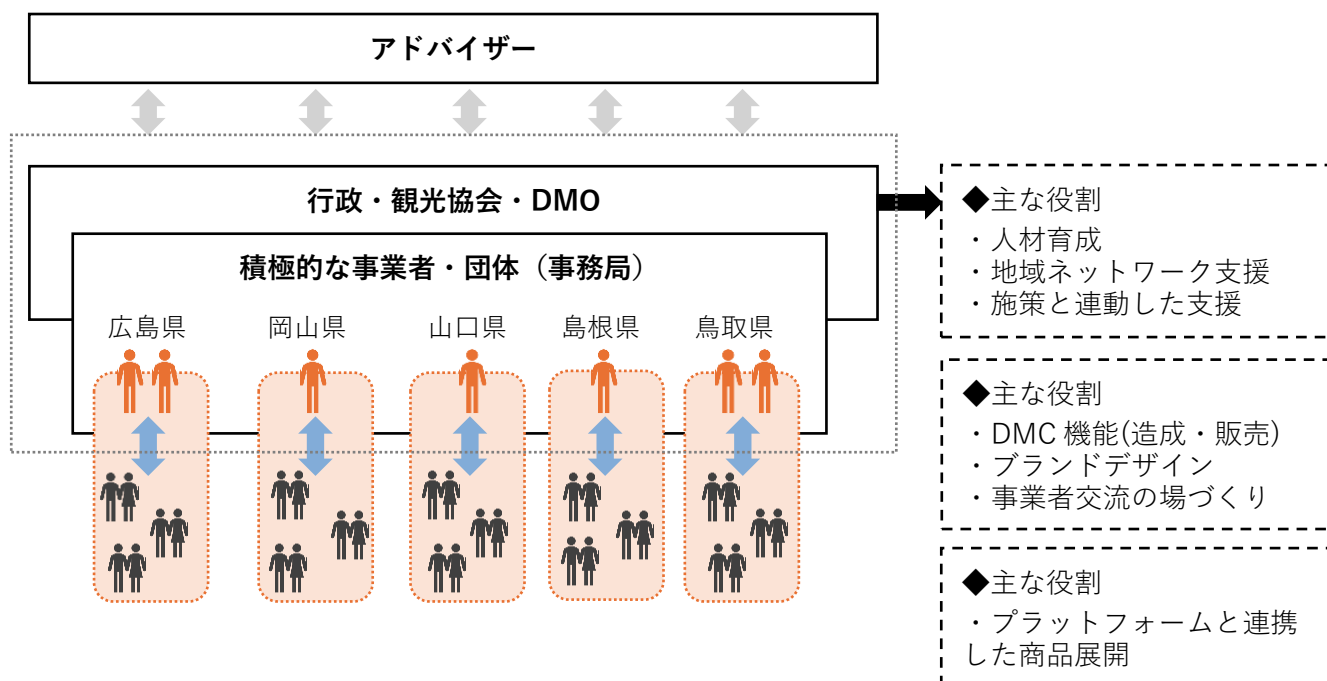
②積極的な事業者・団体の層

- ◇ プラットフォーム全体をマネジメントする事務局機能・コア組織
- ◇ 世界に通用する広域ツアー造成や販売・営業
- ◇ 中国地方の一体的なブランドデザイン・ブランディング
- ◇ 各地域のコンテンツの品質向上、課題解決のための事業者交流の場づくり
- ◇ SNS を活用した事業者・団体とのコミュニケーション等の場づくり

③事業者・団体のコミュニティの層

- ◇ プラットフォームと連携した広域的な商品展開・ツアー展開
- ◇ ST・ATを通じた地域づくり

[プラットフォームの構造イメージ]



5-4. プラットフォームの想定メンバー

左記のプラットフォームの3つの層に関わる想定メンバーを以下に示す。

まずは、1年以内に現時点で同じ意向や思いを持つメンバーで準備会を立ち上げ、経年的に推進に賛同・協力していただく自治体（県・市長村）、観光協会、DMOを増やし、協議会として動かしていくことを想定している。

	今年度～次年度にかけて	次年度～	3～5年後
行政・ 観光協会・ DMO	既にATを推進している行政・観光協会・DMO	左記に加えて、 ◇県 ◇各観光連盟・DMO	ATに取り組みたい・取り組んでいる市町村
事業者・団体	ATに取り組む「積極的な事業者・団体」	適宜コアメンバーを強化	適宜コアメンバーを強化
事業者・団体の コミュニティの層	協力者・賛同者・仲間を増やす		
プラットフォームの動き	プラットフォームのコアの組成	目指すプラットフォームの組成	自走化
	中国地方のAT指針の作成		
	AT推進に向けた場づくり		
	広域的ツアー造成・ブランディング	試行・販売	

5-5. キックオフ

○開催日時

令和 7 年 2 月 19 日（水）14：00～17：00

○開催場所

fabbit 広島駅前

○実施目的

- ☆ 新たなプラットフォームの第 1 歩目のアクションとする
- ☆ 新たなプラットフォームが持つ意義や役割等を周知し、共感していただけるパートナーを増やす
- ☆ サステナブルな観光やアドベンチャーツーリズムの機運醸成へとつなげる

○講師

株式会社インアウトバウンド東北 代表取締役 西谷 雷佐氏

北海道エアポート（株） 水口 猛 氏

○プログラム

1. “新たな挑戦”へ 中国地方プラットフォーム始動！
 - ・プラットフォーム立ち上げの経緯・背景
 - ・プラットフォームの目指す方向性と役割
 - ・今後の展開
2. 中国地方 5 県のサステナブルな観光とアドベンチャーツーリズムの実践例
3. 北海道と東北のサステナブルな観光とアドベンチャーツーリズムの実践例
 - ・東北の ST・AT、広域的な取組やプラットフォームの動きの紹介
 - ・北海道の ST・AT、広域的な取組やプラットフォームの動きの紹介
4. “新たな挑戦”に向けたトークセッション
 - ①上記の発表を踏まえた意見交換
 - ②ST・AT に広域的に一体となって取り組む意義
 - ③ST・AT を推進していくための行政の役割、事業者・プレイヤーの役割
 - ④これからのプラットフォームの動き出し・第 1 歩に向けて
5. 交流会・意見交換会

○当日の様子



57

6. 事業総括

6-1. 事業成果

(1) プラットフォーム構築の意義・見込まれる効果

- これからのインバウンド市場において、AT に関する需要が高まってくることが予想される中で、AT を推進していくことにより、オーバーツーリズム等一極集中型の観光ではなく、各地域に焦点があたり、点の観光から面の観光に展開できる可能性が見込まれ（オーバーツーリズム対策につながる）、かつ経済的な波及効果（観光収益）も期待できる。
- そういった可能性見込まれる AT を推進するプラットフォームを構築することで、そこを入り口にして、地域の魅力を面的に発信するとともに、各地域への送客につなげることやプラットフォームにコンタクトすれば、様々な情報が手に入る、コンシェルジュ的な役割を担う等といった状況をつくることで、観光のポテンシャルの強化につながる。

(2) 今年度の成果

- プラットフォームのコアを担う人材（候補）が整理でき、あり方や役割なども含め、プラットフォームのコアの部分の立ち上げを行える手筈が整った。
- 今年度はコアになりうる可能性の団体や人材に対して情報交換や交流を行った結果から、各県内でも横のつながりを強化することや情報共有（他所が何を行っているを知る）を行うことや上質なコンテンツの造成の支援、海外市場への販促、様々な悩みや課題に対して相談できる窓口等が望まれている状況にあることが把握できた。
- また、プラットフォームの意義や役割、在り方を共有した上で、積極的に関わり、実現していこうとする団体や組織が存在することが把握できた。
- 人材育成、マインドの醸成等も効果的・継続的に実施していく必要があることが把握できた。

6-2. 今後の課題と展開

(1) 積み残し課題

- 理想とするプラットフォームの組織構造の実現には、行政・観光協会・DMO や事業者・団体のコミュニティに対しては、引き続きアプローチが必要となる。
- 特に、行政・観光協会・DMO を巻き込むためには、プラットフォームのあり方や役割だけに留まらず、「中国地方としての AT のビジョン」を打ち出し、AT を通じた観光展開を行うことの意義・効果等（ブランド力、経済的な面等）を明確にしていく必要がある。
- また、事業者・団体のコミュニティの層に関して、今年度はあくまで一握りの人材に対してのアプローチに留まっていることから、次年度以降は、プラットフォームの普及も含め情報交換や交流ができる各県キャラバンを行い、中国地方としての AT・観光事業の機運醸成を図るとともに、プラットフォームのコアを担う人材発掘も並行して実施していくことが必要である。
- さらに、観光ガイドの技術、意識醸成、上質なコンテンツ作成に向けて、今年度同様に継続的な人材育成（勉強会や現地視察など）も必要と考える。
- ターゲットとなるインバウンド等に対して、「中国地方」を売っていくためにも、エリアブランド力を強化しることが必要と考えられることから、中国地方のブランディング・PRを強化するためにも、プラットフォームを基軸にした中国地方の各県を跨ぐATツアーの商品造成を行っていく必要がある。また、これらの商品に対して、海外バイヤー等の反応や感度をみる調査も行い、プラットフォームの具体的な取組につなげていく必要がある。

(2) 次年度に必要と考える取組

積み残し課題を踏まえて、次年度以降に必要な取組み・動きを以下に整理します。

○中国地方における AT ビジョンの検討・策定

中国地方が一体となった AT を推進するために、中国地方の AT が目指す共通のビジョンや方針を検討し、「(仮称) 中国地方の持続可能な地域づくりに向けたアドベンチャーツーリズムに関する指針」をとりまとめる。

※理想とするプラットフォームの実現に向けて実施が必要

○中国地方の AT 推進に向けた場づくり

ア 人材育成や事業者交流につながる AT キャラバンの実施

AT 推進に向けた各地のプレイヤーの人材育成、交流、パートナーシップの構築につながる場を各県・各圏域で企画・運営する。 ※人材発掘も兼ねる

イ スルーガイド勉強会

中国地方が一体となった AT のストーリー展開・商品展開をしていくために必要なスルーガイド勉強会を企画・運営する。

ウ プラットフォームの強化

令和 6 年度事業の成果を土台として、AT 推進パートナーとしての団体・メンバーを増やし、プラットフォームの強化を図る。

○中国地方が一体となったブランディング・商品検討

ア 中国地方の AT エリアブランディング

中国地方の AT の魅力・価値向上を目的に、中国地方の AT を主語としたブランディング・デザインを行う。

イ 商品造成

中国地方 5 県の地域・事業者・団体が連携した AT ツアーを検討する。

ウ 海外市場調査

ATWS (Adventure Travel World Summit) で、アやイの内容、中国地方の既存コンテンツをプレゼン・PR し、商品としての市場価値・可能性を検証し、アとイの内容の精査につなげる。

○検討会の実施

上記の内容等について、専門家、協議会等の中心となりうる人材等で構成された検討会を実施する。

(3) 次年度以降に必要な取組・ロードマップ

今年度の成果や積み残し課題を踏まえ、今後展開が必要と考えられる事項を以下に整理する。

実施項目	今年度（R6 年度）	次年度（R7 年度）	R8 年度以降
ビジョンや方針等の検討	プラットフォームの役割や方向性（あり方）の検討・整理 検討会の実施	中国地方における AT のビジョンの検討・整理 検討会の実施	中国地方以外のエリアにおいて、ビジョンを広めるため、講演会や勉強会の実施（情報発信） 中国地方のモデルを日本全国へ広げる
AT 推進に向けた場づくり	各県のキープレイヤー候補との交流・現地視察	各県にて AT キャラバンの実施 ※各県のプレイヤー、行政、観光協会、DMO 等を集めた情報交換や交流の場を通じて、	各県のキープレイヤーを中心に情報交換・交流する場を継続するとともに、中国地方の他県との交流強化
地域の観光の価値等向上に向けた人材育成	講演会の実施 ガイド勉強会 先進地フィールドワークの実施	スルーガイド勉強会をはじめ、観光人材のスキルアップに向けた講座などの実施	勉強会等を継続し、中国地方のガイドスキルの向上
プラットフォームの構築・設立	プラットフォームのあり方・座組の整理 コアメンバー（仮）の整理	目指すべきプラットフォームの姿の実現に向け、プラットフォームの強化・構築	プラットフォームの運営強化＝DMC 化にむけて
中国地方が一体となったブランディング・商品検討	中国地方の AT のブランドイメージの検討	中国地方の AT ブランディング 各県を跨ぐ商品造成 海外市場調査、ATWS への参加	エリアプロモーション・PR の展開・海外に向けた商品販売

プラットフォーム（コアの部分）のお披露目、在り方と今後について伝える
キックオフ会の開催

令和 6 年度訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業（実証事業）
「サステナブルな観光及びアドベンチャーツーリズム推進に向けたプラットフォーム検討事業」 事業実施報告書

2025 年 2 月

編 集：中国運輸局 観光部 観光地域振興課
〒730-8544 広島県広島市中区上八丁堀 6 番 30 号
TEL: 082-228-8703 FAX: 082-228-9412
支 援：ランドブレイン株式会社